

令和4年度重点事業の成果について

資料③

2 款 総務費	1	地域まちづくりビジョンフォローアップ事業	1
	2	地域づくり交付金事業	
	3	荷揚町小学校跡地複合公共施設整備事業	
	4	豊予海峡ルート推進事業	2
	5	愛媛・大分自治体間交流促進事業	
	6	デジタルトランスフォーメーション（DX）推進事業	
	7	ときめき出会いサポート事業	3
	8	大南地区スポーツ施設整備事業	
	9	スポーツコミッション推進事業	
3 款 民生費	10	生活困窮者自立支援事業（住居確保給付金含む）	4
	11	ノーマライゼーション推進事業	
	12	障がい者福祉施設整備事業	
	13	社会福祉施設等感染症対策事業（私立認可保育所等感染症対策施設整備費補助金含む）	5
	14	大分市成年後見センター事業	
	15	人工呼吸器等非常用電源設備購入費補助金	
	16	高齢者の保健事業と介護予防の一体的事業	6
	17	老人福祉施設等整備事業	
	18	子育て世帯訪問支援事業	
	19	児童育成クラブ事業	7
	20	児童相談所設置事業	
	21	児童福祉施設整備事業	
	22	私立認可保育所等運営費補助金	8
	23	私立保育所等ICT化推進事業	
	24	保育所等給付費	
	25	すくすく大分っ子応援事業	9
26	市立認定こども園設置事業		
27	子ども医療費助成事業		
4 款 衛生費	28	浄化槽設置整備費補助事業	10
	29	新型コロナウイルス検査体制強化事業	
	30	第二次救急医療機関移転・建替支援事業	
	31	大分市地域医療情報ネットワーク整備事業	11
	32	老・成人健康診査事業（無料検診事業含む）	
	33	不妊治療費助成事業	
	34	PCRステーション検体採取事業	12
	35	予防接種事業	
	36	新型コロナウイルスワクチン接種事業	
	37	高齢者等世帯に対するごみ出し支援事業	13
	38	新環境センター整備事業	
6 款 農林水産業費	39	大分市産農林水産物「中食・外食」等活用促進支援事業補助金	14
	40	おおいた香り野菜PR大作戦	
	41	おおいた産品創出・魅力発信事業	
	42	園芸振興総合対策事業（スマート農業技術等活用支援事業費補助金含む）	15
	43	有害鳥獣対策事業	
	44	森林環境整備促進事業	
	45	漁業者事業継続支援事業費補助金	
7 款 商工費	46	企業立地推進事業（産業用地整備方針策定事業含む）	16
	47	次世代モビリティ関連産業活性化事業	
	48	「チャレンジ創業！」大分市創業者応援事業（若手起業家育成事業含む）	
	49	中小製造業設備投資補助事業	17
	50	中小企業販路拡大応援事業	
	51	海外販路拡大支援事業	
	52	ふるさと大分市応援寄附金推進事業	

7 款 商工費	53	中小企業競争力強化支援事業（安心おもてなしステップアップ支援事業補助金含む）	18
	54	中小企業経営力強化推進事業	
	55	おおいた物産・食・観光魅力発信事業（地域魅力創出事業補助金含む）	19
	56	クリエイティブ産業育成事業	
	57	経営安定化資金創設事業	
	58	関崎遊歩道整備事業	20
	59	九六位山・高島キャンプ場整備事業	
	60	大分市おもてなしクーポン発行事業	
	61	アートを活かしたまちづくり事業	21
	62	西部海岸地区憩い・交流拠点施設整備事業	
8 款 土木費	63	水害時避難支援事業	22
	64	岡原周辺にぎわい創出促進事業	
	65	鉄道残存敷整備・活用事業	
	66	末広町一丁目地区市街地再開発事業	
	67	祝祭の広場利活用検討事業	23
	68	戸次本町地区にぎわい創出事業	
	69	西大分駅周辺整備事業	24
	70	各地区住環境整備事業	
	71	ふれあい交通運行事業	
	72	新たなモビリティサービス事業	
	73	路線バス代替交通運行事業	
	74	がけ地近接等危険住宅移転事業	25
	75	耐震改修促進事業	
	76	住宅等ストック対策推進事業	26
77	消防団詰所等施設整備事業		
9 款 消防費	78	消防指令業務共同運用事業	27
	79	被災者救援物資等備蓄事業	
	80	津波緊急避難施設整備事業	
	81	戸次地区防災拠点施設整備事業	28
	82	常設災害対策本部整備事業	
	83	未来自分創造資金	
10 款 教育費	84	特別支援等教育活動サポート事業・特別支援教育アドバイザー派遣事業	29
	85	スクールサポートスタッフ配置事業	
	86	外国語指導助手招聘事業	
	87	いじめ・不登校等未然防止対策事業	30
	88	小中学校施設長寿命化改修事業	
	89	金池小学校施設整備事業	
	90	大在東小学校施設整備事業	31
	91	大友氏遺跡保存整備事業	
	92	DXによる地域文化資源の継承及び活用推進事業	
	93	FUNAI文化遺産整備基金積立金	32
	94	公民館類似施設整備事業	
	95	鶴崎公民館施設整備事業	
	96	新たな知の拠点整備事業	33
	97	海星館施設整備事業	
	98	学校給食費公会計化等学校徴収金管理事業	

※人件費については、職員1人当たりの年間平均給与をもとに算定しています。

1					担当課	市民協働推進課
事業名	地域まちづくりビジョンフォローアップ事業		事業年度	令和元 年度～		
事業内容	市内13地域で策定された「地域まちづくりビジョン」の実現に向け、「地域まちづくりビジョンフォローアップ会議」を開催し、地域の関係者への報告や意見交換等を行いながら、それぞれの地域において市民と行政と一緒にまちづくりに取り組んでいく機運を醸成する。					
決算額(千円)	12,665	内訳	事業費	2,015		
			人件費	10,650		
実施内容	市内13地域において「地域まちづくりビジョンフォローアップ会議」を開催し、市民と行政のそれぞれの立場からビジョン提案事業について意見交換を行った。					
成果等	地域まちづくりビジョンフォローアップ会議を通じて、市民と行政が一緒になって大分市のまちづくりに取り組んでいく機運の醸成が図られた。					
R4年度予算額(千円)	15,922	内訳	事業費	5,272		
			人件費	10,650		
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	地域まちづくりビジョンフォローアップ会議の開催	地域まちづくりビジョンフォローアップ会議の開催	地域まちづくりビジョンフォローアップ会議の開催	地域まちづくりビジョンフォローアップ会議の開催		
2						
					担当課	市民協働推進課
事業名	地域づくり交付金事業		事業年度	平成25 年度～		
事業内容	地域住民が自主的・自立的に地域課題を解決し、地域の活性化を図るため、原則として小学校区を活動範囲とするまちづくり協議会に、地域の実情に応じた活用ができる交付金を交付する。					
決算額(千円)	125,233	内訳	事業費	108,903		
			人件費	16,330		
実施内容	22校区のまちづくり協議会に、既存の5つの補助金等をまとめ、地域づくり交付金を交付した。					
成果等	地域住民が自主的・自立的に地域課題の解決に取り組むとともに、地域住民の創意工夫により地域の活性化を図ることができた。					
R4年度予算額(千円)	130,873	内訳	事業費	114,543		
			人件費	16,330		
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	・制度の周知、導入校区拡大 ・20校区の協議会に交付	・制度の周知、導入校区拡大 ・22校区の協議会に交付	・制度の周知、導入校区拡大 ・22校区の協議会に交付	・制度の周知、導入校区拡大 ・交付金の交付		
3						
					担当課	企画課
事業名	荷揚町小学校跡地複合公共施設整備事業		事業年度	平成29 年度～ 令和20年度		
事業内容	中心市街地のまちづくりの骨格となる荷揚町小学校跡地について、魅力のある実現性の高い事業の構築を目指すために、「中心市街地公有地利活用基本構想」に基づき複合公共施設等の整備を進める。					
決算額(千円)	37,980	内訳	事業費	16,680		
			人件費	21,300		
実施内容	・PFIモニタリング業務委託 ・建設工事					
成果等	PFIモニタリング業務委託を実施することで、事業者が事業契約等に定められた要求水準等を達成しているかを確認しながら確実に事業を進めることができた。また、令和6年度の供用開始に向け、7月から建設工事に着手した。					
R4年度予算額(千円)	38,300	内訳	事業費	17,000		
			人件費	21,300		
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	・基本構想策定 ・事業者の公募及び決定 ・基本協定、事業契約の締結 ・基本設計、実施設計	・PFIモニタリング業務委託 (設計・建設・工事監理業務) ・建設工事着手(R4年7月)	・PFIモニタリング業務委託 (建設・工事監理業務、契約等業務) ・建設工事、建物引渡し(R6年1月末)	供用開始(R6年4月)		

4					担当課	企画課
事業名	豊予海峡ルート推進事業		事業年度	平成27年度～		
事業内容	豊予海峡ルートは、地方創生に寄与するとともに、災害時におけるリダンダンシー(多重性)の確保など、わが国の安全性・信頼性の面から極めて重要なルートであることから、整備によってもたらされる経済・社会効果の調査・分析の結果を基に、国・県・関係機関等への働きかけを行うことにより、実現に向けた機運の醸成を図る。					
決算額(千円)	21,724	内訳	事業費	7,524		
			人件費	14,200		
実施内容	令和3年度にまとめた「子どもたちに残す、強く新しい日本のために。豊予海峡ルート推進に関する論集」に寄稿いただいた有識者を講師及びパネリストとして招き、豊予海峡ルート推進シンポジウムを開催した。					
成果等	大分市主催による初の県外(東京)でのシンポジウムを開催し、これまでの豊予海峡ルートに関する調査結果の説明や「豊予海峡ルート推進に関する論集」に関する意見交換を通じて、豊予海峡ルート実現の機運醸成を図ることができた。					
R4年度予算額(千円)	24,200	内訳	事業費	10,000		
			人件費	14,200		
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	・豊予海峡ルート等調査業務 ・寄稿集の作成 ・シンポジウムの開催	豊予海峡ルート推進シンポジウムの開催	国等への要望の実施	国等への要望の実施		
5						
事業名	愛媛・大分自治体間交流促進事業		事業年度	令和2年度～令和4年度		
事業内容	愛媛県、大分県相互の各市町の交流を促進し、観光、文化等の様々な分野に係る新たな交流圏域を形成することで、基礎自治体単独では取り組むことが困難な課題の解決や継続的・安定的な行政サービスの提供について取り組む。					
決算額(千円)	16,572	内訳	事業費	5,922		
			人件費	10,650		
実施内容	本市を含む18市町で構成する愛媛・大分交流市町村連絡会議の各首長を招聘して実施する首長サミットを本市で開催するとともに、スポーツ交流、農泊体験等の相互交流事業や圏域の特産品魅力発信イベント等を実施した。					
成果等	圏域内の特産品や観光拠点等の魅力発信に取り組み、今後の交流人口の拡大に向けた機運の醸成を図ることができた。					
R4年度予算額(千円)	21,650	内訳	事業費	11,000		
			人件費	10,650		
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	・連絡会議設置 ・首長サミット開催 ・豊予海峡交流促進事業補助金 ・広報誌の相互掲載 ・道の駅等連携事業実施 ・ホームページの作成	・首長サミット開催 ・相互交流事業実施 ・特産品魅力発信イベント ・豊予海峡交流促進事業補助金	これまでの市町の枠組みに加え、両県の青年会議所、大学等研究機関、観光・交通事業者等が参画した実行委員会を設立し、「えひめ・おおいた交流事業」として実施	これまでの市町の枠組みに加え、両県の青年会議所、大学等研究機関、観光・交通事業者等が参画した実行委員会を設立し、「えひめ・おおいた交流事業」として実施		
6						
事業名	デジタルトランスフォーメーション(DX)推進事業		事業年度	年度～		
事業内容	基幹系の業務システムを国の標準仕様に準拠したシステムへ移行することや、各種申請手続に係るオンライン化を進めること等によりデジタルトランスフォーメーションを推進する。					
決算額(千円)	78,057	内訳	事業費	56,757		
			人件費	21,300		
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・27の手続き等のオンライン化 ・オンライン申請システムの運用及び拡充 ・AI-OCR 7業務、RPA 20業務の運用 ・専門知識や技術を有する外部人材を活用及びDXに関する職員研修の実施 					
成果等	デジタル技術を活用することにより、業務効率化が図られるとともに、市民の利便性及び行政サービスの更なる向上につながった。					
R4年度予算額(千円)	105,538	内訳	事業費	84,238		
			人件費	21,300		
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	以下の内容を別事業で実施 ・AI-OCR・RPAの導入・運用 ・DX推進体制構築	<ul style="list-style-type: none"> ・行政手続オンライン化事業 ・オンライン申請システムの運用及び拡充 ・AI-OCR・RPAの運用 ・DX推進体制構築 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報システム標準化対応事業 ・AI-OCR・RPA、オンライン申請システム等の運用及び拡充 ・DX推進体制構築等 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報システム標準化対応事業 ・AI-OCR・RPA、オンライン申請システム等の運用及び拡充 ・DX推進体制構築 ・ガバメントクラウド移行対応等 		

7				
			担当課	生活安全・男女共同参画課
事業名	ときめき出会いサポート事業		事業年度	平成27年度～
事業内容	婚活におけるスキルアップを目的として、結婚観・家族観についての意識改革や出会いの場での効果的なプロフィールの書き方などをテーマとしたセミナーを開催する。 また、セミナー受講者に対して学んだ内容を実践してもらうための出会いの場となるイベントを開催する。			
決算額(千円)	13,028	内訳	事業費	4,508
			人件費	8,520
実施内容	婚活におけるスキルアップを目的としたWEBセミナーを2回、対面式セミナーを2回実施した。 また、出会いの場となるイベントを10回開催した。			
成果等	セミナーについては、WEBセミナーを2回開催した。また、3年ぶりに対面式セミナーを2回開催し136名が参加した。イベントについては、感染拡大防止の観点から参加者の規模を縮小して実施したが、35組(70名)のカップルが誕生し、カップル成立率は41.2%となった。			
R4年度予算額(千円)	13,120	内訳	事業費	4,600
			人件費	8,520
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降
	スキルアップを目的としたセミナー及び出会いの場となるイベントの実施	スキルアップを目的としたセミナー及び出会いの場となるイベントの実施	スキルアップを目的としたセミナー及び出会いの場となるイベントの実施	スキルアップを目的としたセミナー及び出会いの場となるイベントの実施
8				
			担当課	スポーツ振興課
事業名	大南地区スポーツ施設整備事業		事業年度	平成30年度～令和6年度
事業内容	大分市スポーツ推進審議会からの答申や、大南地区振興協議会からの継続的な要望等を踏まえ、大南地区にスポーツ施設を整備し、地域で身近にスポーツができる環境を創出することで、大南地区のみならず本市全体におけるスポーツ実施率の向上や、スポーツ施設配置に係る地域バランスを図る。			
決算額(千円)	416,199	内訳	事業費	409,099
			人件費	7,100
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・取付道路工事 ・調整池整備工事 ・用地造成工事 			
成果等	取付道路工事及び調整池整備工事を実施し、造成工事に着手した。			
R4年度予算額(千円)	425,100	内訳	事業費	418,000
			人件費	7,100
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降
	・用地買収 ・本工事	本工事	本工事	本工事
9				
			担当課	スポーツ振興課
事業名	スポーツコミッション推進事業		事業年度	令和2年度～
事業内容	県、市町村、民間企業、競技団体等からなる官民一体型の組織に参画し、国際スポーツ大会の事前キャンプ、スポーツ合宿を誘致し、市民のスポーツへの興味関心の喚起や情報の発信、交流人口の拡大による地域経済の活性化を図る。			
決算額(千円)	24,074	内訳	事業費	9,874
			人件費	14,200
実施内容	【合宿誘致実績】 ハンドボール女子日本代表(ハンドボール:4月)、堺ブレイザーズ(バレーボール:7月)、フェンシング・サーブル日本代表(フェンシング:10月)、コパルコ神戸ステイラーズ(ラグビー:11月)、甲斐拓也選手合同自主トレ(野球:1月)、明治大学競走部(陸上:2月)、青山学院大学陸上競技部(陸上:3月)			
成果等	合宿期間中には、チームが市民との交流の機会を設け、エキシビジョンマッチや選手による技術指導などの交流を通じたスポーツの振興が図られた。			
R4年度予算額(千円)	28,200	内訳	事業費	14,000
			人件費	14,200
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降
	国際スポーツ大会の事前キャンプ、スポーツ合宿の誘致	国際スポーツ大会の事前キャンプ、スポーツ合宿の誘致	国際スポーツ大会の事前キャンプ、スポーツ合宿の誘致	国際スポーツ大会の事前キャンプ、スポーツ合宿の誘致

10				
			担当課	生活福祉課
事業名	生活困窮者自立支援事業(住居確保給付金含む)		事業年度	年度～
事業内容	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、生活困窮者自立相談支援機関(大分市社会福祉協議会)への相談件数や住居確保給付金の申請件数が増加しているため、相談体制及び住居確保への支援体制を整備する。			
決算額(千円)	87,146	内訳	事業費	80,046
			人件費	7,100
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・自立相談支援事業(新規相談件数) 1,722件 ・住居確保給付金支給件数 56件 			
成果等	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で就労環境の変化等により収入の減少が懸念される市民に対して、就労機会等の支援や安定的な住居の確保につながった。			
R4年度予算額(千円)	105,430	内訳	事業費	98,330
			人件費	7,100
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降
	<ul style="list-style-type: none"> ・自立相談支援 ・相談員を増員 	自立相談支援	自立相談支援	自立相談支援
11				
			担当課	障害福祉課
事業名	ノーマライゼーション推進事業		事業年度	令和3年度～
事業内容	ノーマライゼーションの推進を目的とした、スポーツや文化芸術等のイベント、自己啓発事業、理解促進啓発事業を実施する個人及び団体に対し、開催に係る経費を補助する。			
決算額(千円)	21,636	内訳	事業費	14,536
			人件費	7,100
実施内容	イベント開催:5件(補助額11,266千円) 自己啓発事業:3件(補助額467千円) 理解促進啓発事業:1件(補助額2,761千円)			
成果等	申請件数は、令和3年度が7件、令和4年度が9件と増加するなど、補助制度の周知が図られる中、ノーマライゼーションの理念に基づいた取組を実施することで、共生社会の実現に資することができた。			
R4年度予算額(千円)	28,100	内訳	事業費	21,000
			人件費	7,100
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降
	補助金の交付	補助金の交付	補助金の交付	補助金の交付
12				
			担当課	障害福祉課
事業名	障がい者福祉施設整備事業		事業年度	年度～
事業内容	障がい者が可能な限りその身近な場所において、必要な日常生活又は社会生活を営むための支援を行う障がい者福祉施設の整備費を補助する。			
決算額(千円)	5,763	内訳	事業費	83
			人件費	5,680
実施内容	補助金の交付決定等を行った。 ※部品の納入遅延により、令和4年度に整備が完了せず、令和5年度に全額繰り越した。			
成果等	共同生活援助、短期入所事業所創設「ラ・ソーレ3」(定員8名)			
R4年度予算額(千円)	37,695	内訳	事業費	32,015
			人件費	5,680
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降
	<ul style="list-style-type: none"> ・共同生活援助・短期入所・計画相談・居宅介護等事業所創設(定員8名) ・共同生活援助事業所創設(定員7名) ・障害者支援施設大規模修繕(定員34名)※R2⇒R3繰越 	障害者支援施設大規模修繕(定員80名)※R3⇒R4繰越	<ul style="list-style-type: none"> ・共同生活援助、短期入所事業所創設(定員8名) ・共同生活援助、短期入所、居宅介護事業所創設(定員10名) ・就労継続支援、就労移行支援事業所大規模修繕(定員40名) ・共同生活援助、短期入所事業所創設(定員8名)※R4⇒R5繰越 	施設の新設・改築等

13					担当課	障害福祉課、長寿福祉課、子ども企画課、子育て支援課、保育・幼児教育課、子ども入園課
事業名	社会福祉施設等感染症対策事業 (私立認可保育所等感染症対策施設整備費補助金含む)			事業年度	令和2年度～	
事業内容	新型コロナウイルス感染症への対応のため、障がい者福祉施設や児童福祉施設などにおいて、施設の運営が継続してできるよう各種補助及び感染症対策物品の購入を行う。					
決算額(千円)	141,110	内訳	事業費	123,360		
			人件費	17,750		
実施内容	各施設においてコロナ禍であっても継続した運営ができるよう、施設整備や感染症対策物品の購入など感染症対策に係る経費を補助した。					
成果等	新型コロナウイルス感染症拡大や集団感染のリスクを軽減するとともに、適切な環境のもとでの事業の継続に寄与した。					
R4年度予算額(千円)	163,125	内訳	事業費	145,375		
			人件費	17,750		
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	各施設に対し新型コロナウイルス感染症対応のための各種補助及び感染症対策物品の購入	各施設に対し新型コロナウイルス感染症対応のための各種補助及び感染症対策物品の購入	各施設に対し新型コロナウイルス感染症対応のための各種補助及び感染症対策物品の購入	未定		
14						
					担当課	障害福祉課
事業名	大分市成年後見センター事業			事業年度	平成30年度～	
事業内容	認知症や知的障がい、精神障がいなどにより物事を判断する能力が十分でない人が、自身の権利や財産を守り、自分らしく安心して暮らすことができるよう、大分市成年後見センターの相談及び利用支援等について、令和4年度からは由布市との広域連携により両市の相談機関の相互利用を実施する。					
決算額(千円)	35,937	内訳	事業費	28,837		
			人件費	7,100		
実施内容	相談件数411件 成年後見制度における後見等の業務を適切に行うことができる法人を確保できる体制を整備するとともに、権利擁護に関する相談や支援、法人後見による成年後見人等の受任、権利擁護にかかわる人材の育成や活動の支援、関係機関・団体等との連携、権利擁護に関する広報啓発活動を行った。					
成果等	成年後見制度の利用について、広域連携により相互利用が可能となることで相談件数が増加するなど利便性の向上が図られた。					
R4年度予算額(千円)	37,415	内訳	事業費	30,315		
			人件費	7,100		
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	成年後見制度における各種事業の実施	・成年後見制度における各種事業の実施 ・由布市との広域連携の開始 ・中核機能化による機能強化	・成年後見制度における各種事業の実施 ・成年後見制度利用促進地域連携ネットワーク協議会の開催	・成年後見制度における各種事業の実施 ・成年後見制度利用促進地域連携ネットワーク協議会の開催		
15						
					担当課	障害福祉課
事業名	人工呼吸器等非常用電源設備購入費補助金			事業年度	令和3年度～	
事業内容	在宅で人工呼吸器等の医療的ケアを行っている障がい者(児)の災害時等における電源を確保するため、非常用発電装置等の購入費を補助する。					
決算額(千円)	5,282	内訳	事業費	1,732		
			人件費	3,550		
実施内容	・補助件数:18件 ・補助額:1,732千円					
成果等	在宅で人工呼吸器等の医療的ケアを行っている障がい者(児)の、災害時等における生命の安全の保障と福祉の増進を図ることができた。					
R4年度予算額(千円)	8,550	内訳	事業費	5,000		
			人件費	3,550		
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	補助金の交付	補助金の交付	補助金の交付	補助金の交付		

16					担当課	長寿福祉課
事業名	高齢者の保健事業と介護予防の一体的事業		事業年度	令和4年度～		
事業内容	医療・介護の保険請求データから後期高齢者の健康状態を把握し、個別の保健指導や通いの場での講話等を通じて重症化予防・フレイル予防に取り組む。					
決算額(千円)	8,513	内訳	事業費	1,413		
			人件費	7,100		
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者に対する個別的支援(ハイリスクアプローチ) 医療専門職が、低栄養防止や生活習慣病等の重症化予防を行うための訪問相談、適正受診の促進のための訪問指導等、アウトリーチ支援を行った。 ・通いの場等への積極的な関与(ポピュレーションアプローチ) 高齢者が日常的に立ち寄る機会の多い場所や通いの場において、フレイル予防の普及啓発活動や運動・栄養・口腔等の健康教育・健康相談を実施した。 					
成果等	<ul style="list-style-type: none"> ・ハイリスクアプローチ(訪問指導3回・電話指導2回) 15人 ・ポピュレーションアプローチ 開催回数 30回(10圏域×3回) 					
R4年度予算額(千円)	10,130	内訳	事業費	3,030		
			人件費	7,100		
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	-	実施圏域 10圏域	実施圏域 10圏域	実施圏域 10圏域		
17						
					担当課	長寿福祉課
事業名	老人福祉施設等整備事業		事業年度	年度～		
事業内容	大分市介護保険事業計画に基づいた介護施設などの整備費および防災・減災対策に係る経費を補助する。					
決算額(千円)	125,650	内訳	事業費	118,450		
			人件費	7,200		
実施内容	災害発生時に自力で避難することが困難な者が多く利用する高齢者施設に対して、防災・減災対策に係る経費を補助した。					
成果等	<ul style="list-style-type: none"> ・介護サービス基盤整備事業費補助金 地域密着型サービス等整備助成 2施設 施設開設準備経費等支援 3施設 ・地域介護・福祉空間整備等施設整備補助金 3施設 					
R4年度予算額(千円)	195,998	内訳	事業費	188,798		
			人件費	7,200		
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	・介護サービス基盤整備事業に係る事業者公募(補助金の交付) ・地域介護・福祉空間整備事業	(補助金の交付) ・介護サービス基盤整備事業 ・地域介護・福祉空間整備事業	(補助金の交付) ・介護サービス基盤整備事業 ・地域介護・福祉空間整備事業	継続実施予定		
18						
					担当課	子育て支援課
事業名	子育て世帯訪問支援事業		事業年度	令和4年度～		
事業内容	家事・育児に対して不安・負担を抱えている妊産婦やヤングケアラー等に対して、育児支援ヘルパーを派遣し、相談支援や家事・育児支援を行う。また、支援対象児童等に対して、民間団体と連携して食事の提供や学習支援を通じた子どもの状況把握を行い、見守り体制を強化する。					
決算額(千円)	10,316	内訳	事業費	3,216		
			人件費	7,100		
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・大分市子育て世帯・ヤングケアラー等訪問支援事業 訪問回数:109回 ・大分市子ども等見守り訪問支援事業 訪問世帯数:18世帯 					
成果等	子育てに課題を抱える世帯への訪問支援を行うことで、子どもの安全を確認することができ、児童虐待の未然防止が図られた。					
R4年度予算額(千円)	18,100	内訳	事業費	11,000		
			人件費	7,100		
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	-	・子育て世帯・ヤングケアラー等訪問109回 ・子ども等見守り訪問18世帯	・子育て世帯・ヤングケアラー等訪問250回 ・子ども等見守り訪問140世帯	・子育て世帯・ヤングケアラー等訪問500回 ・子ども等見守り訪問160世帯		

19					担当課	子育て支援課
事業名	児童育成クラブ事業			事業年度	昭和56年度～	
事業内容	保護者が就労等により昼間家庭にいない児童を対象に、放課後等に遊びを中心とする適切な生活の場を提供することにより、放課後児童の健全育成を図るとともに、保護者の仕事と子育ての両立を支援する。					
決算額(千円)	871,706	内訳		事業費	837,626	
				人件費	34,080	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・児童育成クラブへの運営費を補助した。 ・面積基準(1人あたり1.65㎡)に適合した児童の受入ができるよう施設を整備した。 ・提供体制が十分でない校区を対象に、民間事業者が運営する放課後児童クラブに対して補助した。 					
成果等	<ul style="list-style-type: none"> ・金池校区児童育成クラブ、東大分校区児童育成クラブにて、計156名の定員を拡大した。 ・民間事業者を活用した放課後児童クラブの拡張などにより、計33名の定員を拡大した。 					
R4年度予算額(千円)	992,483	内訳		事業費	958,403	
				人件費	34,080	
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	<ul style="list-style-type: none"> ・2校区の施設整備 ・2校区で民間放課後児童クラブ開設 ・249名の定員増 	<ul style="list-style-type: none"> ・2校区の施設整備 ・1校区で民間放課後児童クラブ改修 ・189名の定員増 	<ul style="list-style-type: none"> ・1校区の施設整備 ・1校区で民間放課後児童クラブ改修 	施設整備や民間事業者の活用により更なる定員拡大を図る。		
20						
					担当課	子育て支援課
事業名	児童相談所設置事業			事業年度	令和元年度～	
事業内容	すべての子どもが心身ともに健やかに育つよう、子ども及びその家庭等に対し、より充実した相談援助活動を行うために、児童相談所の設置に向けた取組を進める。					
決算額(千円)	57,779	内訳		事業費	8,079	
				人件費	49,700	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・県へ8名の職員を派遣し、その代替として会計年度任用職員3名雇用した。 ・奈良市等へ児童相談所業務について視察した。 					
成果等	県への職員の派遣や、他自治体への視察により、児童相談所業務への理解が深まった。また、県中央児童相談所城崎分室との連携強化が図られた。					
R4年度予算額(千円)	61,515	内訳		事業費	11,815	
				人件費	49,700	
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	<ul style="list-style-type: none"> ・基本計画策定委員会の開催 ・県への職員派遣 ・児童家庭相談システム稼働 	<ul style="list-style-type: none"> ・県への職員派遣 ・県中央児童相談所城崎分室新設に伴う連携強化の取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・県への職員派遣 ・県中央児童相談所城崎分室との連携強化の取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・県への職員派遣 ・県中央児童相談所城崎分室との連携強化の取組 		
21						
					担当課	保育・幼児教育課
事業名	児童福祉施設整備事業			事業年度	年度～	
事業内容	待機児童の解消や安全で快適な保育環境整備のため、社会福祉法人や学校法人等が行う認可保育所等の施設整備に対し補助する。					
決算額(千円)	48,751	内訳		事業費	34,551	
				人件費	14,200	
実施内容	こころの森こども園による分園設置及び泉町保育園(現:ゆめの泉こども園)の増改築(旧園舎の解体)に伴う整備費、たんぼ保育園外17施設の防犯対策強化に係る整備費に対して補助を行った。					
成果等	<ul style="list-style-type: none"> ・増改築2施設:定員40名増 ・防犯対策強化18施設 					
R4年度予算額(千円)	53,108	内訳		事業費	38,908	
				人件費	14,200	
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	<ul style="list-style-type: none"> ・新設1施設(定員60名増) ・増改築等1施設(定員60名増) ・防犯対策強化35施設 	<ul style="list-style-type: none"> ・増改築等2施設(定員40名増) ・防犯対策強化18施設 	<ul style="list-style-type: none"> ・増改築等1施設(定員40名増) ・防犯対策強化9施設 ・送迎用バス安全対策15施設 	<ul style="list-style-type: none"> ・増改築等継続実施 ・防犯対策強化継続実施 		

22					担当課	子ども入園課
事業名	私立認可保育所等運営費補助金			事業年度	年度～	
事業内容	私立認可保育所等における職員の処遇改善を図り、保育事業の健全な運営に資するため、私立認可保育所等の職員の人件費及び施設運営に要する経費を補助する。					
決算額(千円)	168,453	内訳		事業費	165,613	
				人件費	2,840	
実施内容	私立認可保育所等の管理運営に要する経費を交付した。 ・常勤手当分:常勤職員1人につき月5,000円 ・調理員加配分:保育利用定員91人以上の施設が配置基準を上回る調理員を雇用する場合の経費					
成果等	私立認可保育所等における職員の処遇改善が図られ、保育事業の健全な運営に寄与した。					
R4年度予算額(千円)	183,596	内訳		事業費	180,756	
				人件費	2,840	
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	・私立認可保育所等へ補助金の交付 ・調理員加配分の増額	私立認可保育所等へ補助金の交付	私立認可保育所等へ補助金の交付	継続実施予定		
23						
					担当課	子ども入園課
事業名	私立保育所等ICT化推進事業			事業年度	令和3年度～	
事業内容	私立保育所や病児保育施設等における保育士の業務負担軽減及び利用者の利便性向上を図るため、子どもの登降園管理や保護者との連絡、保育に関する計画・記録、予約・キャンセル等の業務のICT化を行うために必要なシステムや、通訳・翻訳機器の導入経費を補助する。					
決算額(千円)	9,939	内訳		事業費	6,389	
				人件費	3,550	
実施内容	システム導入8施設、翻訳機の購入6施設に対して、導入経費の補助を行った。					
成果等	保育士の業務負担の軽減・離職防止及び利用者の利便性の向上が図られた。					
R4年度予算額(千円)	23,688	内訳		事業費	20,138	
				人件費	3,550	
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	・システム導入41施設 ・病児保育施設5施設のシステム導入はR3年度に完了 ・翻訳機の購入12施設	・システム導入8施設 ・翻訳機の購入6施設	・システム導入28施設 ・翻訳機の購入14施設	-		
24						
					担当課	保育・幼児教育課、子ども入園課
事業名	保育所等給付費			事業年度	年度～	
事業内容	私立認可保育所、認定こども園等に係る給付及び市立保育所等の運営を行うとともに、保育士等の処遇改善を図る。					
決算額(千円)	15,074,545	内訳		事業費	15,048,275	
				人件費	26,270	
実施内容	国の制度に基づき私立認可保育所等143施設において、運営費の支給および技能・経験に応じた保育士の処遇改善等に係る給付費の加算を行った。(処遇改善等加算Ⅰ賃金改善分:713,478千円、処遇改善等加算Ⅱ:485,826千円、処遇改善等加算Ⅲ(10～3月実施):187,913千円)					
成果等	保育士等の処遇改善を図ることができた。					
R4年度予算額(千円)	15,193,270	内訳		事業費	15,167,000	
				人件費	26,270	
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	処遇改善の実施	処遇改善の実施	処遇改善の実施	処遇改善の実施		

25				
			担当課	子育て支援課
事業名	すくすく大分っ子応援事業		事業年度	令和4年度～
事業内容	子育てに係る経済的な負担の軽減を行い、安心して子どもを産み育てることができる環境を整備するため、子育て世帯を対象に出生児一人につき5万円を給付する。			
決算額(千円)	182,996	内訳	事業費	175,896
			人件費	7,100
実施内容	3,421人の対象児一人につき5万円を給付した。			
成果等	子育て世帯の経済的負担が軽減され、安心して子どもを産み育てることができる環境の整備に寄与した。			
R4年度予算額(千円)	231,100	内訳	事業費	224,000
			人件費	7,100
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降
	-	3,421人の対象児一人につき5万円給付	対象児一人につき5万円給付	対象児一人につき5万円給付
26				
			担当課	保育・幼児教育課
事業名	市立認定こども園設置事業		事業年度	令和2年度～
事業内容	「大分市立幼稚園及び保育所の在り方の方針」に基づき、幼稚園と保育所の一体化を図り、幼児教育と保育を一体的に提供するため、原則として地区公民館区域ごとに市立の幼保連携型認定こども園を設置する。			
決算額(千円)	615,597	内訳	事業費	608,497
			人件費	7,100
実施内容	令和5年4月の「かないけ認定こども園」の開園に向けた施設整備のほか、「さかのせき認定こども園」に関する改修工事等を行った。			
成果等	令和5年4月の「かないけ認定こども園」開園に向けた施設整備が完了した。			
R4年度予算額(千円)	615,597	内訳	事業費	608,497
			人件費	7,100
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降
	・野津原地区 開設 ・佐賀関地区 開設準備 ・大分中央地区 開設準備	・佐賀関地区 開設 ・大分中央地区 開設準備	・大分中央地区 開設 ・大分西部地区 開設準備	大分西部地区 開設準備～開設
27				
			担当課	子育て支援課
事業名	子ども医療費助成事業		事業年度	年度～
事業内容	子どもの健全な育成に寄与するとともに、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、中学生までの子どもを対象に、保護者が支払う医療費を助成する。			
決算額(千円)	1,312,937	内訳	事業費	1,298,737
			人件費	14,200
実施内容	【保護者負担】未就学児、小・中学生：通院、入院ともに無料(※) ※市町村民税課税世帯の小・中学生の通院については、1医療機関ごと1日500円(月4回まで)まで自己負担あり。			
成果等	子育て世帯の経済的負担を軽減するとともに、傷病の早期発見、早期治療が可能となり、少子化対策に寄与した。			
R4年度予算額(千円)	1,333,486	内訳	事業費	1,319,286
			人件費	14,200
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降
	子どもの医療費の自己負担額を助成	・子どもの医療費の自己負担額を助成 ・令和4年10月診療分より市町村民税課税世帯の小・中学生の通院に係る医療費を助成対象に追加	子どもの医療費の自己負担額を助成	・子どもの医療費の自己負担額を助成 ・令和6年4月診療分より高校生に係る医療費を助成対象に追加

28					担当課	廃棄物対策課
事業名	浄化槽設置整備費補助事業			事業年度	昭和63年度～	
事業内容	公共下水道等の未整備地域において、一般住宅の単独処理浄化槽又は汲み取り便槽から合併処理浄化槽に設置替えを行う者に対し、要した費用の一部を補助する。					
決算額(千円)	166,607	内訳		事業費	145,307	
				人件費	21,300	
実施内容	浄化槽設置整備費補助金…補助件数:184基、補助金額:145,307千円					
成果等	合併処理浄化槽への設置替えを促進することにより、生活環境の保全と公衆衛生の向上を図ることができた。					
R4年度予算額(千円)	180,183	内訳		事業費	158,883	
				人件費	21,300	
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	【累計】 10,180基	184基	200基(予定)	200基(予定)		
29					担当課	保健総務課
事業名	新型コロナウイルス検査体制強化事業			事業年度	令和3年度～令和5年度	
事業内容	新型コロナウイルス感染症拡大の未然防止及び感染者の早期発見ができるよう、大分市抗原検査センターを開設し、抗原検査を実施する。					
決算額(千円)	1,433,661	内訳		事業費	1,430,111	
				人件費	3,550	
実施内容	抗原検査センターを大分駅前、鶴崎、明野、植田に設置し、希望者に対して抗原検査を実施した。					
成果等	県外からの移動者、市内店舗等の利用者や従業員のほか、感染に不安を感じる県民を対象に抗原検査を実施したことで、新型コロナウイルス感染症の早期発見につながり、まん延防止に寄与した。					
R4年度予算額(千円)	1,451,471	内訳		事業費	1,447,921	
				人件費	3,550	
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	・大分駅前検査所を開設 ・鶴崎検査所を開設 ・明野検査所を開設	・大分駅前、鶴崎、明野検査所を引き続き開設 ・植田検査所を開設	全検査所を5月7日に閉鎖	-		
30					担当課	保健総務課
事業名	第二次救急医療機関移転・建替支援事業			事業年度	令和3年度～	
事業内容	市内の第二次救急医療体制を維持・確保するため、建物の老朽化の進行等により移転・建替を必要とする医療機関に対して建物の建設費の一部を補助する。					
決算額(千円)	51,250	内訳		事業費	47,700	
				人件費	3,550	
実施内容	社会医療法人かつ本市に所在地を有する第二次救急医療機関の移転・建替にかかる建設費の一部を補助した。					
成果等	第二次救急医療機関の移転・建替を支援することにより、病院群輪番制の維持・継続を図り、入院・手術等を要する救急患者の医療体制の維持に寄与した。					
R4年度予算額(千円)	53,550	内訳		事業費	50,000	
				人件費	3,550	
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	大分中村病院	大分中村病院	大分中村病院	未定		

31					担当課	保健総務課
事業名	大分市地域医療情報ネットワーク整備事業		事業年度	令和元 年度～		
事業内容	ICTの活用により子どもから高齢者までの医療情報等を医療機関が相互に閲覧できるネットワークの構築に向け、医療機関・薬局・行政で構成された「おおいた医療ネットワーク運営協議会」に対し、システム仕様等のサポートを行うとともに運営費等を補助する。					
決算額(千円)	134,593	内訳	事業費	121,813		
			人件費	12,780		
実施内容	令和2年4月に設立した「おおいた医療ネットワーク運営協議会」に対しネットワーク構築に向けた運営費の補助を行うとともに、協議会が開催する理事会や運営委員会等に参画した。					
成果等	システム構築や、一部施設に機器設置を行い、ネットワークの運用に向けた準備を進めた。					
R4年度予算額(千円)	136,880	内訳	事業費	124,100		
			人件費	12,780		
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	・参加医療機関募集 ・プロポーザルによる業者選定 ・システム設計協議	・第1期システム構築、導入 ・医療機関向け説明	・第2期システム構築、導入 ・テスト運用 ・市民向け広報 ・運用開始	・ネットワーク運営 ・システム保守、機能強化 ・市民向け広報		
32						
事業名	老・成人健康診査事業(無料検診事業含む)		事業年度	年度～		
事業内容	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、各種検診に係る受診者数の減少がみられるため、令和3年度に引き続き、検診に係る自己負担額を無料にするとともに、一部検診項目の受診対象を拡大することにより受診者数の増加を図り、生活習慣病や疾病を早期発見し、適切な治療につなげる。					
決算額(千円)	293,121	内訳	事業費	276,081		
			人件費	17,040		
実施内容	【対象の検診】胃がん(X線)、乳がん、子宮頸がん、前立腺がん、肺がん(喀たん)、胃がんリスク、骨粗しょう症、市民健診(35～39歳) (参考)これまでも無料の検診:肺がん・結核、肝炎ウイルス、大腸がん					
成果等	受診者延べ人数:88,207人 令和3年度と同様に新型コロナウイルス感染症拡大前の水準(H30実績:88,803人)を維持した。					
R4年度予算額(千円)	295,354	内訳	事業費	278,314		
			人件費	17,040		
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	全11項目の自己負担を無料化(胃がん(内視鏡)を除く)	全11項目の自己負担を無料化(胃がん(内視鏡)を除く)	ワンコイン(各500円)での自己負担により検診実施(従来より無料の3項目を除く)	ワンコイン(各500円)での自己負担により検診実施(従来より無料の3項目を除く)		
33						
事業名	不妊治療費助成事業		事業年度	平成15 年度～		
事業内容	少子化対策の一環として、不妊・不育症検査や不妊治療に要する費用の一部を助成することにより、不妊治療を行う夫婦の経済的負担を軽減する。また、「おおいた不妊・不育相談センター」を県と共同運営することで、妊娠や不妊治療に関する相談体制を整備する。					
決算額(千円)	103,134	内訳	事業費	88,934		
			人件費	14,200		
実施内容	・令和3年度から令和4年度にかけて実施した不妊治療について経過措置として助成を行った。 ・先進医療に係る費用の一部を助成した。 ・不妊検査・不育症検査にかかる費用の一部を助成した。 ・不妊や不育等の悩みに関する相談に対応した。					
成果等	・助成申請件数510件(不妊治療288件、不妊検査220件、不育症検査2件) ・おおいた不妊・不育相談センターへの相談件数1,187件					
R4年度予算額(千円)	114,200	内訳	事業費	100,000		
			人件費	14,200		
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	・不妊治療費、不妊検査費、不育症検査費への助成 ・おおいた不妊・不育相談センター相談事業の実施	・不妊治療費・先進医療費、不妊検査費、不育症検査費への助成 ・おおいた不妊・不育相談センター相談事業の実施	・不妊治療費・先進医療費、不妊検査費、不育症検査費への助成 ・おおいた不妊・不育相談センター相談事業の実施	・先進医療費・不妊検査費・不育症検査費への助成 ・おおいた不妊・不育相談センター相談事業の実施		

34					担当課	保健予防課
事業名	PCRステーション検体採取事業		事業年度	令和2年度～4年度		
事業内容	新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者等に対しPCR検査ができるよう、JR大分駅東側54街区にPCRステーションを開設し、検体を採取する。					
決算額(千円)	49,302	内訳	事業費	45,752		
			人件費	3,550		
実施内容	JR大分駅東側54街区にPCRステーションを開設し、PCR検査に用いる検体を採取した。 利用人数:2,074人					
成果等	新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者等に対し、迅速な検査を実施することができた。					
R4年度予算額(千円)	56,350	内訳	事業費	52,800		
			人件費	3,550		
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	大分城址公園内にPCRステーション開設し、検体採取実施	54街区にて引き続き検体採取実施	-	-		
35						
					担当課	保健予防課
事業名	予防接種事業		事業年度	年度～		
事業内容	各種感染症の発生及びまん延を防止するため、定期予防接種等を実施するとともに、令和4年度はHPV(子宮頸がん予防)ワクチンの勧奨を再開し、併せて接種機会を逃した方に対しても勧奨及び接種を実施する。					
決算額(千円)	1,369,211	内訳	事業費	1,340,811		
			人件費	28,400		
実施内容	予防接種法に基づき、定期予防接種(A類・B類)を実施するとともに、妊娠を希望する助成等への風しん抗体検査及び予防接種費用やおたふくかぜワクチン接種費用の助成を行った。 また、HPVワクチンの勧奨を再開し、併せて接種機会を逃した方に対しても勧奨及び接種を実施した。 (キャッチアップ接種)					
成果等	各種感染症の発生及びまん延を防止し、公衆衛生の向上及び増進に寄与した。 また、HPVワクチンの接種勧奨を再開し、併せて接種機会を逃した方に対しても勧奨通知をすることで、接種率が向上した。					
R4年度予算額(千円)	1,515,568	内訳	事業費	1,487,168		
			人件費	28,400		
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	・定期予防接種(A類・B類) ・風しん追加的対策 ・任意予防接種費用助成	・定期予防接種(A類・B類) ・風しん追加的対策 ・HPVキャッチアップ接種 ・任意予防接種費用助成	・定期予防接種(A類・B類) ・風しん追加的対策 ・HPVキャッチアップ接種 ・任意予防接種費用助成	・定期予防接種(A類・B類) ・風しん追加的対策 ・HPVキャッチアップ接種 ・任意予防接種費用助成		
36						
					担当課	保健予防課
事業名	新型コロナウイルスワクチン接種事業		事業年度	令和2年度～		
事業内容	新型コロナウイルスワクチン接種について、1～3回目の接種を実施するとともに、5歳から11歳への接種についても、体制を整備し、迅速かつ円滑に接種を実施する。					
決算額(千円)	3,585,170	内訳	事業費	3,539,020		
			人件費	46,150		
実施内容	予防接種法に基づき、特例臨時接種として、初回接種(1・2回目)、第一追加接種(3回目)、第二追加接種(4回目)、小児接種(5歳から11歳)、オミクロン株対応ワクチン接種、乳幼児接種(0歳～4歳)を行った。					
成果等	【接種状況】R5.3.31時点(これまでの総接種回数) ※小児用、乳幼児用ワクチン接種回数を含む (1回目)接種者数369,594人、接種率77.39% (2回目)接種者数366,761人、接種率76.80% (3回目)接種者数308,241人、接種率64.54% (4回目)接種者数207,969人、接種率43.55% (5回目)接種者数100,904人、接種率21.13%					
R4年度予算額(千円)	3,693,975	内訳	事業費	3,647,825		
			人件費	46,150		
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	1～3回目接種	・1～4回目接種 ・オミクロン株対応ワクチン接種	・春開始接種 ・秋開始接種	未定		

37					担当課	清掃業務課
事業名	高齢者等世帯に対するごみ出し支援事業		事業年度	令和4年度～		
事業内容	自ら所定のごみステーションまで持ち出すことが困難であり、親族や地域の方によるごみ出しの協力が得られない高齢者や障がい者等世帯を対象に、玄関先などの指定された場所に出されたごみを収集する。					
決算額(千円)	19,655	内訳	事業費	15,395		
			人件費	4,260		
実施内容	収集回数延べ 6,062回					
成果等	日々のごみ出しに課題を抱えていた高齢者や障がい者等世帯の負担軽減が図られた。					
R4年度予算額(千円)	24,515	内訳	事業費	20,255		
			人件費	4,260		
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	-	・ごみ収集の実施 ・制度の周知	・ごみ収集の実施 ・制度の周知	・ごみ収集の実施 ・制度の周知		
38						
					担当課	清掃施設課
事業名	新環境センター整備事業		事業年度	平成29年度～ 令和28年度		
事業内容	一般的に清掃工場の耐用年数は概ね20～25年とされており、現在稼働している福宗環境センター及び佐野清掃センター清掃工場は、設備の故障による施設整備が増加するなど、ごみの適正処理に支障を及ぼすことが懸念されていることから、新環境センターの整備を行う。					
決算額(千円)	2,596,184	内訳	事業費	2,567,784		
			人件費	28,400		
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・建設用地の購入 ・新環境センター整備事業受託候補者の選定 ・特別高圧電線路整備に関する事業の実施 					
成果等	<ul style="list-style-type: none"> ・建設用地を購入した。(255,630.99㎡) ・外部有識者による選定委員会にて、新環境センター整備事業受託候補者を選定した。 ・特別高圧電線路のルートを設定した。 					
R4年度予算額(千円)	2,603,912	内訳	事業費	2,575,512		
			人件費	28,400		
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	・環境影響評価や用地協議の実施 ・整備事業受託候補者の選定	・建設予定地の取得 ・整備事業受託候補者の選定 ・特別高圧電線路整備に関する事業の実施	・実施設計、造成工事開始 ・特別高圧電線路整備に関する事業の実施	・造成工事実施 ・建築工事開始		
39						
					担当課	農政課
事業名	大分市産農林水産物「中食・外食」等活用促進支援事業補助金		事業年度	令和4年度～		
事業内容	飲食や惣菜店舗等の中食・外食事業者が、市産農林水産物を活用したメニューにかかる催事の開催に対し、その経費の一部を補助する。					
決算額(千円)	7,425	内訳	事業費	3,875		
			人件費	3,550		
実施内容	中食・外食店舗が市産農林水産物を活用した催事を行う際、広報やチラシ作成等にかかる経費に対し補助を行った。(補助率:4/5、補助上限額:広報・委託料300千円、レンタル料300千円)					
成果等	<ul style="list-style-type: none"> ・催事を通じて、市産農林水産物の消費拡大及びPRに繋がった。 ・補助事業者数:16件 ・催事の合計売上:54,231千円 					
R4年度予算額(千円)	7,550	内訳	事業費	4,000		
			人件費	3,550		
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	-	中食・外食店舗への催事開催支援	中食・外食店舗への催事開催支援	中食・外食店舗への催事開催支援		

40					担当課	農政課
事業名	おおいた香り野菜PR大作戦			事業年度	令和4年度～4年度	
事業内容	本市を代表する野菜である「大葉」「みつば」「水耕せり」「パセリ」を、「おおいた香り野菜」として一体的にPRする販売促進キャンペーン等を実施する。					
決算額(千円)	7,713	内訳		事業費	4,873	
				人件費	2,840	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・おおいた香り野菜パスタ、ラーメンフェアを実施 ・生活情報誌にレシピを掲載 ・おおいたマルシェに出展し、香り野菜を使用したスムージーとそのレシピを配布 等 					
成果等	一般家庭や業務用の消費を高めるため、様々な媒体を通じて、おおいた香り野菜を一体的にPRすることができた。					
R4年度予算額(千円)	7,840	内訳		事業費	5,000	
				人件費	2,840	
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	-	PRキャンペーンの実施	-	-		
41						
					担当課	農政課
事業名	おおいた産品創出・魅力発信事業			事業年度	平成28年度～	
事業内容	農林漁業者や中小企業者等が行う本市の地域資源を活用した新商品の開発等を支援するとともに、大分市ブランド認証制度の実施や、大都市圏の店舗に大分市ブランド認証加工品等の市産品を販売する常設棚設置等を実施する。					
決算額(千円)	26,727	内訳		事業費	14,657	
				人件費	12,070	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市産農林水産物を活用した商品開発等を支援した。 ・大分市ブランド認証加工品(Oita Birth)のPRを行った。 ・東京・大阪の店舗内に大分市コーナーを設置し、市産品の販路拡大を支援した。 他 					
成果等	<ul style="list-style-type: none"> ・「おおいたの幸」ブランド化支援事業補助金による新商品数:9品 ・大分市ブランド(Oita Birth)認証数:10品 ・大分市コーナー販売額:東京2,458千円、大阪2,676千円 他 					
R4年度予算額(千円)	29,501	内訳		事業費	17,431	
				人件費	12,070	
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	・「おおいたの幸」ブランド化支援事業 ・大分市ブランド認証制度 ・大分市コーナー運営 等	・「おおいたの幸」ブランド化支援事業 ・大分市ブランド認証制度 ・大分市コーナー運営 等	・「おおいたの幸」ブランド化支援事業 ・大分市ブランド認証制度 ・大分市コーナー運営 等	・「おおいたの幸」ブランド化支援事業 ・大分市ブランド認証制度 ・大分市コーナー運営 等		
42						
					担当課	生産振興課
事業名	園芸振興総合対策事業 (スマート農業技術等活用支援事業費補助金含む)			事業年度	平成18年度～	
事業内容	認定農業者等の担い手が行う栽培施設の整備や生産性向上機器の導入等に要する経費の一部を補助する。					
決算額(千円)	108,408	内訳		事業費	82,848	
				人件費	25,560	
実施内容	栽培施設等の新設及びスマート農業技術等の先進的な技術の導入に対し補助した。 ・補助対象者:認定農業者(13経営体)、認定新規就農者(2経営体) ・栽培施設整備面積等:28a(にら)、11a(いちご)、52a(ピーマン)、462a(おおぼ)、22a(パセリ)					
成果等	栽培施設の新設やスマート農業技術導入支援など、生産基盤の強化及び省力化により、品質の向上や生産量の確保が図られ、生産者の経営の安定や、産地の維持発展につながった。					
R4年度予算額(千円)	170,240	内訳		事業費	144,680	
				人件費	25,560	
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	栽培施設の新設及び生産性向上機器等の導入支援	栽培施設の新設・改修及び生産性向上機器等の導入支援	栽培施設の新設及び生産性向上機器等の導入支援	栽培施設の新設及び生産性向上機器等の導入支援		

43				担当課	林業水産課
事業名	有害鳥獣対策事業		事業年度	年度～	
事業内容	有害鳥獣の捕獲や、防護柵の設置、狩猟免許取得等に対して支援することにより、農作物への被害や宅地内への侵入などを防止する。				
決算額(千円)	88,631	内訳	事業費	59,521	
			人件費	29,110	
実施内容	①有害鳥獣捕獲の実施(春～秋期) ②防護柵購入に対する助成(電気柵、トタン柵、鉄線柵、複合柵) ③狩猟免許講習料に対する助成 ④地上型鳥獣追払いシステム及びドローンを活用した追払い				
成果等	①捕獲頭数:猪1,620頭、鹿119頭、アナグマ等中型動物234頭、カラス等鳥類374羽 ②申請件数(受益面積):電気柵53件(120,833㎡)、トタン柵2件(5,040㎡)、鉄線柵73件(141,689㎡)、複合柵2件(316㎡) ③対象者数:6名 ④設置・実施件数:地上用鳥獣追払いシステム5件、ドローン9件				
R4年度予算額(千円)	98,054	内訳	事業費	68,944	
			人件費	29,110	
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降	
	・有害鳥獣捕獲の実施 ・防護柵設置及び狩猟免許講習料等に対する助成 ・ドローン等を活用した鳥獣対策	・有害鳥獣捕獲の実施 ・防護柵設置及び狩猟免許講習料等に対する助成 ・ドローン等を活用した鳥獣対策	・有害鳥獣捕獲の実施 ・防護柵設置及び狩猟免許講習料等に対する助成 ・ドローン等を活用した鳥獣対策	・有害鳥獣捕獲の実施 ・防護柵設置及び狩猟免許講習料等に対する助成 ・ドローン等を活用した鳥獣対策	
44					
				担当課	林業水産課
事業名	森林環境整備促進事業		事業年度	令和元 年度～	
事業内容	森林環境譲与税を活用し、整備区域選定に係る調査を行うなど、適切な森林の整備を進め、森林の公益的機能の維持増進を図る。				
決算額(千円)	64,505	内訳	事業費	62,375	
			人件費	2,130	
実施内容	①植生木の育成状況・境界等の現地確認を実施 ②森林整備における協定書を締結し、森林整備を実施 ③木のおもちゃで遊ぶコーナーや、木工ワークショップなど、親子で楽しめるイベントを開催 ④市産材を活用した大型の遊具をこどもルーム、待合用椅子を地区公民館等に設置 ⑤下刈りや鳥獣被害防止のネット設置等に対する補助を実施				
成果等	①旧大分地区8.05ha、野津原地区8.38ha、佐賀関地区16.52ha 計32.95ha ②旧大分地区4.20ha、野津原地区1.11ha、佐賀関地区14.02ha:除伐、間伐、不要木撤去 計19.33ha ③第2回大分市木育フェス:来場者 3,600人、開催日 10月1日(土)、場所 お部屋ラボ 祝祭の広場 ④大型遊具:大在こどもルーム、鶴崎こどもルーム(各1基)、待合用椅子:鶴崎公民館、大分東部公民館、大分西部公民館(各4基) ⑤保育間伐:0.24ha、下刈り103.24ha、鳥獣害防止施設:7,583m				
R4年度予算額(千円)	64,513	内訳	事業費	62,383	
			人件費	2,130	
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降	
	・整備区域の現況調査 ・森林整備の実施 ・木育フェス開催 ・木製品設置	・整備区域の現況調査 ・森林整備の実施 ・木育フェス開催 ・木製品設置	・整備区域の現況調査 ・森林整備の実施 ・木育フェス開催 ・木製品設置	・整備区域の現況調査 ・森林整備の実施 ・木育フェス開催 ・木製品設置	
45					
				担当課	林業水産課
事業名	漁業者事業継続支援事業費補助金		事業年度	令和2 年度～	
事業内容	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、魚価が下がり、出漁控えにより、低迷している水産物の流通回復を図るため、漁船の燃油購入費を補助することで漁業者の出漁に係る経済的な負担を軽減する。				
決算額(千円)	50,243	内訳	事業費	49,888	
			人件費	355	
実施内容	大分県漁業協同組合(大分支店・神崎取次店・佐賀関支店)に対して、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和2年4月～令和3年3月のいずれかの月において前年同月比で水揚額が10%以上減少した正組合員が大分県漁業協同組合で給油する漁船の燃油購入費を補助した。				
成果等	申請延べ人数:1,839人 燃油使用料:892,913ℓ				
R4年度予算額(千円)	63,355	内訳	事業費	63,000	
			人件費	355	
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降	
	漁業者への燃油購入費の補助	漁業者への燃油購入費の補助	漁業者への燃油購入費の補助	未定	

46					担当課	創業経営支援課
事業名	企業立地推進事業(産業用地整備方針策定事業含む)		事業年度	平成16年度～		
事業内容	産業の振興及び雇用機会の拡大を図るため、企業立地に係る経費の一部を助成するとともに、パンフレットの作成や県と連携した動向調査など企業誘致活動を行う。また、企業誘致を進めるうえで課題となっている産業用地不足に対応するため、新たな用地の確保に向け、大分市産業用地整備方針の策定を行う。					
決算額(千円)	1,373,387		内訳	事業費	1,335,757	
				人件費	37,630	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・企業立地促進助成金等、新規の立地企業数:21件(16社) ・企業誘致活動に係る訪問企業数:243件(102社) ・大分市産業用地整備方針の策定 					
成果等	企業立地の促進により、本市の産業振興と雇用機会の拡大が図られた。また、産業用地不足に対応するため、新たな用地の確保に向けた整備方針を策定した。					
R4年度予算額(千円)	1,488,532		内訳	事業費	1,450,902	
				人件費	37,630	
計画概要	～R3年度		R4年度	R5年度		R6年度以降
	【累計】 立地企業数 設備投資額 新規雇用者	129件(107社) 約2,524億円 2,513人	立地企業数 設備投資額 新規雇用者 21件(16社) 約213億円 388人	立地企業数 設備投資額 新規雇用者 43件(36社) 約487億円 614人	・新設、増設、移設企業の支援 ・産業用地整備の促進	
47						
					担当課	創業経営支援課
事業名	次世代モビリティ関連産業活性化事業		事業年度	令和元年度～4年度		
事業内容	「大分市次世代モビリティ研究会」において、オリジナルの車両等、製品の研究開発や本市における事業モデルの構築に向けた取組を推進する。					
決算額(千円)	7,858		内訳	事業費	758	
				人件費	7,100	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・大分市次世代モビリティ研究会 第3回定時総会を開催 ・MiCH-ON(試作車両)のPRを目的とした各種イベント参加 ・空飛ぶクルマに関する調査(飛行実験視察、先進事例視察) 					
成果等	次世代の多様な移動手段に関する利活用や研究開発を産学官で取り組むことで、産業の振興や地域の活性化が図られた。					
R4年度予算額(千円)	15,100		内訳	事業費	8,000	
				人件費	7,100	
計画概要	～R3年度		R4年度	R5年度		R6年度以降
	・車両等の試作を見据えた調査及び研究開発、車両の試作 ・次世代モビリティや関連機器及び先端技術に関する調査研究		・超小型モビリティの活用方法検討 ・空飛ぶクルマに関する最新動向の調査研究	-		-
48						
					担当課	創業経営支援課
事業名	「チャレンジ創業！」大分市創業者応援事業 (若手起業家育成事業含む)		事業年度	平成27年度～		
事業内容	創業に係る事業所賃借料等の経費の一部を補助するとともに、学生等若年層(概ね29歳以下)を対象にした起業セミナーやビジネスプランコンテスト等を実施する。					
決算額(千円)	47,461		内訳	事業費	26,161	
				人件費	21,300	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・大分市創業者応援事業補助金 令和3年度採択分:15件、令和4年度採択分:18件(申請件数:52件)、補助金額:20,809千円 ・若手起業家育成事業 起業セミナー…開催数:3回、参加者数:82人 おおいた学生ビジネスプランコンテスト…応募件数:33件、参加者数:81人 若手起業家育成施設の候補地調査 					
成果等	本市の産業振興及び経済の活性化並びに雇用の創出に寄与するとともに、学生等若年層の創業マインドの醸成及びシーズの発掘と育成が図られた。					
R4年度予算額(千円)	54,100		内訳	事業費	32,800	
				人件費	21,300	
計画概要	～R3年度		R4年度	R5年度		R6年度以降
	補助金の交付による支援		・補助金の交付による支援 ・起業セミナー及びビジネスプランコンテストの開催、若手起業家育成施設に係る候補地調査	・補助金の交付による支援 ・起業セミナー及びビジネスプランコンテストの開催、若手起業家育成施設のプレオープン	・補助金の交付による支援 ・起業セミナー及びビジネスプランコンテストの開催、若手起業家育成施設の開設	

49					担当課	創業経営支援課
事業名	中小製造業設備投資補助事業			事業年度	平成27年度～	
事業内容	製造業を営む中小企業に対し、競争力強化や生産力向上のための設備投資に係る経費の一部を補助する。					
決算額(千円)	32,803	内訳	事業費	27,833		
			人件費	4,970		
実施内容	中小製造業設備投資補助金…補助件数:18件、補助金額:25,548千円					
成果等	設備を導入した製造業を営む中小企業の競争力強化や生産力向上に寄与した。					
R4年度予算額(千円)	37,416	内訳	事業費	32,446		
			人件費	4,970		
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	補助金の交付による支援	補助金の交付による支援	補助金の交付による支援	補助金の交付による支援		
50					担当課	創業経営支援課
事業名	中小企業販路拡大応援事業			事業年度	平成27年度～	
事業内容	事業者が見本市等に出展する際に要する経費や、産業活性化プラザなど本市が指定する中小企業経営相談所のサポートを受けながら作成した改善案の下で販路拡大を図るために必要な経費の一部を補助する。					
決算額(千円)	22,032	内訳	事業費	18,482		
			人件費	3,550		
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業見本市等出展事業補助金…補助件数:27件、補助金額:9,385千円 ・販路拡大課題解決補助金…補助件数:25件、補助金額:8,573千円 					
成果等	本市の事業者が生産・加工した商品等を全国へ向けてPRすることで、販路の拡大が図られ、中小企業の活性化に寄与した。					
R4年度予算額(千円)	24,555	内訳	事業費	21,005		
			人件費	3,550		
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	補助金の交付による支援	補助金の交付による支援	補助金の交付による支援	補助金の交付による支援		
51					担当課	創業経営支援課
事業名	海外販路拡大支援事業			事業年度	平成28年度～	
事業内容	県や日本貿易振興機構(ジェトロ)等の関係機関と連携したマーケティングや商談・販売の機会創出を行うとともに、海外商談会等への参加や越境ECサイトへの出店等に要する経費の一部を補助する。					
決算額(千円)	31,292	内訳	事業費	15,672		
			人件費	15,620		
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・大分県との共催による「海外バイヤー(アメリカ・東南アジア)招聘商談会」や「県内留学生等と協働した県産品マーケティング事業」、大分県貿易協会との共催による「貿易実務講座」等を実施 ・海外販路拡大サポート補助金…補助件数:11件、補助金額:3,291千円 					
成果等	本市の事業者が生産・加工した商品等を海外へ向けてPRすることで、販路の拡大が図られ、中小企業の活性化に寄与した。					
R4年度予算額(千円)	36,464	内訳	事業費	20,844		
			人件費	15,620		
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携した商談会等の実施 ・補助金の交付による支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携した商談会等の実施 ・補助金の交付による支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携した商談会等の実施 ・補助金の交付による支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携した商談会等の実施 ・補助金の交付による支援 		

52					担当課	商工労政課
事業名	ふるさと大分市応援寄附金推進事業		事業年度	平成26年度～		
事業内容	5千円以上の個人寄附者に本市の特産品等を返礼品として贈呈することにより、寄附金の増収を図るとともに、本市の魅力発信及び特産品等の販路拡大につなげる。					
決算額(千円)	568,838	内訳	事業費	554,638		
			人件費	14,200		
実施内容	返礼品の拡充や本市にゆかりのある方へのPR、関東、関西地方等を中心に新聞等への広告掲載を行った。					
成果等	<ul style="list-style-type: none"> ・返礼品736品目(前年度比101品目増) ・寄附件数64,088件(前年度比15,606件増) ・寄附金額992,320千円(前年度比2,309千円減) 					
R4年度予算額(千円)	593,200	内訳	事業費	579,000		
			人件費	14,200		
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	<ul style="list-style-type: none"> 【累計】 ・寄附件数130,690件 ・寄附額2,104,721千円 ・企業版ふるさと納税制度の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・寄附件数64,088件 ・寄附額992,320千円 ・企業版ふるさと納税制度の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・寄附件数61,000件(予定) ・寄附額1,400,000千円(予定) ・企業版ふるさと納税制度の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人寄附者への返礼品の拡充、PR ・企業版ふるさと納税制度の活用 		
53						
					担当課	商工労政課
事業名	中小企業競争力強化支援事業 (安心おもてなしステップアップ支援事業補助金含む)		事業年度	平成29年度～		
事業内容	中小企業等が行う販路開拓や業務効率化の取組や、新型コロナウイルス感染症対策等の取組の支援を行うとともに、デジタル化を推進する人材を育成するためのIT化促進セミナーや経営・企画力向上のための講演会等を開催する。					
決算額(千円)	168,061	内訳	事業費	150,311		
			人件費	17,750		
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・大分市小規模事業者競争力強化支援事業補助金:補助件数207件、補助金額54,068千円 ・安心おもてなしステップアップ支援事業補助金:補助件数369件、補助金額92,713千円 ・IT化促進セミナー及び経済講演会参加者数:IT化促進セミナー27名、経済講演会295名 					
成果等	中小企業等が行う販路開拓や業務効率化等の取組を支援するとともに、IT化促進セミナー等を開催することで、競争力の強化が図られた。					
R4年度予算額(千円)	183,450	内訳	事業費	165,700		
			人件費	17,750		
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金の交付による支援 ・IT化促進セミナーの開催 ・講演会の開催 ・中小企業等取組事例集作製 	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金の交付による支援 ・IT化促進セミナーの開催 ・講演会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金の交付による支援 ・IT化促進セミナーの開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金の交付による支援 ・IT化促進セミナーの開催 		
54						
					担当課	創業経営支援課
事業名	中小企業経営力強化推進事業		事業年度	平成23年度～		
事業内容	中小企業の事業承継や事業継続計画(BCP)の策定に要する経費、人材育成のための研修や知的財産権の出願に要する経費の一部を補助する。					
決算額(千円)	31,217	内訳	事業費	21,987		
			人件費	9,230		
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者経営相談事業 …相談件数:3件 ・中小企業人材育成支援事業補助金 …補助件数:134社、補助金額:12,403千円 ・中小企業者事業承継等支援補助金 …補助件数:2社、補助金額:874千円 ・中小企業者BCP等策定等支援補助金…補助件数:4社、補助金額:966千円 ・知的財産権取得促進事業補助金 …補助件数:39社、補助金額:5,034千円 ・中小企業自主研修応援事業補助金 …補助件数:13社、補助金額:1,955千円 					
成果等	中小企業の人材育成や知的財産権の出願等を支援するとともに、中小企業診断士による無料経営相談を行うことで、経営力の強化が図られた。					
R4年度予算額(千円)	43,700	内訳	事業費	34,470		
			人件費	9,230		
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金の交付による支援 ・事業者経営相談事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金の交付による支援 ・事業者経営相談事業の実施 	補助金の交付による支援	補助金の交付による支援		

55					担当課	おおいた魅力発信局
事業名	おおいた物産・食・観光魅力発信事業 (地域魅力創出事業補助金含む)			事業年度	平成29年度～	
事業内容	大都市圏でのおおいた観光物産展や地元食材による「豊後料理」の普及促進等を行うとともに、新たな魅力やにぎわい創出のため、ポップカルチャーに関するイベントに係る経費の一部を補助する。					
決算額(千円)	65,666	内訳	事業費	51,466		
			人件費	14,200		
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・大都市圏でのおおいた観光物産展の開催:2箇所(東京・大阪)、来場者数計31,034人 ・大分都市広域圏内の飲食店83店舗において豊後料理を創作・提供するとともにPRイベントを実施 ・おおいたポップカルチャーフェス2023の開催を支援:延べ来場者数420名 					
成果等	本市への誘客と販路拡大に係る物産・観光・農林水産物等の魅力情報の発信を行うことができた。					
R4年度予算額(千円)	70,484	内訳	事業費	56,284		
			人件費	14,200		
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	<ul style="list-style-type: none"> ・観光物産展等の実施 ・豊後料理の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光物産展等の実施 ・豊後料理の提供 ・地域魅力創出事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光物産展等の実施 ・豊後料理の提供 ・地域魅力創出事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・観光物産展等の実施 ・豊後料理の提供 ・地域魅力創出事業の実施 		
56					担当課	商工労政課
事業名	クリエイティブ産業育成事業			事業年度	平成30年度～	
事業内容	クリエイティブ産業の育成を図るため、(株)中川政七商店(奈良県)による大分都市広域圏内のクリエイターや中小企業を対象とした教育講座や、県内クリエイターを対象に、中小企業の課題を解決するアイデアを競うコンテストを開催する。					
決算額(千円)	24,477	内訳	事業費	17,377		
			人件費	7,100		
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・経営とブランディング講座:全6回実施、受講者数17名 ・デザインコンテスト:デザイン募集10商品(うち1社辞退)、応募作品77点(うち7点表彰) 					
成果等	クリエイターや市内中小企業の学びの場と実践の場を提供することで、クリエイティブ産業の育成が図られた。					
R4年度予算額(千円)	25,229	内訳	事業費	18,129		
			人件費	7,100		
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	<ul style="list-style-type: none"> ・経営とブランディング講座 ・パッケージデザインコンテストの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・経営とブランディング講座 ・デザインコンテストの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・デザイン経営の手法を活用した事業化実践プログラム ・デザインコンテストの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・デザイン経営の手法を活用した事業化実践プログラム ・デザインコンテストの実施 		
57					担当課	創業経営支援課
事業名	経営安定化資金創設事業			事業年度	令和4年度～	
事業内容	業況の悪化等により、経営の安定に支障が生じている中小企業者等を対象とした融資制度を創設する。					
決算額(千円)	951,281	内訳	事業費	949,151		
			人件費	2,130		
実施内容	常設のセーフティネット保証融資に加え、令和4年7月から令和5年3月まで、新型コロナウイルス感染症や原油価格・物価高騰等の影響を受けた中小企業者等に対し、低利率(1.295%)の「緊急支援融資」を発動し、資金繰り支援を行った。また、併せて信用保証料及び1年間の利子の補給を行った。					
成果等	<ul style="list-style-type: none"> ・信用保証料補給金…申請件数:494件、信用保証料補給額:206,067千円 ・利子補給金…申請件数:405件、利子補給額:11,634千円 ※その他、預託金730,000千円					
R4年度予算額(千円)	960,395	内訳	事業費	958,265		
			人件費	2,130		
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	-	<ul style="list-style-type: none"> ・信用保証料補給による支援 ・1年間の利子補給金の交付による支援 	信用保証料補給による支援	信用保証料補給による支援		

58					担当課	観光課
事業名	関崎遊歩道整備事業		事業年度	令和3年度～4年度		
事業内容	関崎海星館リニューアルに伴い佐賀関エリアへの観光客増加が見込まれることから、関崎遊歩道の整備を行い、佐賀関地区の魅力向上を図る。					
決算額(千円)	48,160	内訳	事業費	46,030		
			人件費	2,130		
実施内容	関崎遊歩道改修工事					
成果等	関崎遊歩道の階段部分の改修や手すり設置などの整備が完了した。					
R4年度予算額(千円)	48,430	内訳	事業費	46,300		
			人件費	2,130		
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	測量・詳細設計	整備工事	-	-		
59					担当課	観光課
事業名	九六位山・高島キャンプ場整備事業		事業年度	令和4年度～6年度		
事業内容	キャンプ場の魅力を高め、利用者の拡大を図るため、テントサイトやシャワー設備等の整備を行う。					
決算額(千円)	17,636	内訳	事業費	10,536		
			人件費	7,100		
実施内容	キャンプ場整備測量・設計業務委託 外4件					
成果等	キャンプ場整備に係る測量や設計等を行った。					
R4年度予算額(千円)	18,200	内訳	事業費	11,100		
			人件費	7,100		
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	-	測量・設計等	・工事請負契約の締結 ・整備工事(1年目)	整備工事(2年目)		
60					担当課	観光課
事業名	大分市おもてなしクーポン発行事業		事業年度	令和2年度～4年度		
事業内容	対象となる宿泊プランを予約した宿泊者に対し、チェックイン時に市内の飲食店・土産店等で使用できる2,000円分(1,000円×2枚)のクーポン券を配布する。					
決算額(千円)	42,036	内訳	事業費	34,936		
			人件費	7,100		
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・配布対象期間: 令和4年7月15日～令和5年2月28日 ・発行枚数: 50,000枚、配布枚数: 28,152枚、利用枚数: 25,723枚 					
成果等	宿泊施設の利用者に対して、市内の飲食店・土産店等で使用できるクーポン券を発行することにより、誘客及び観光消費の促進につながった。					
R4年度予算額(千円)	67,100	内訳	事業費	60,000		
			人件費	7,100		
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	発行枚数: 50,000枚	発行枚数: 50,000枚	-	-		

61					担当課	商工労政課
事業名	アートを活かしたまちづくり事業		事業年度	平成25年度～		
事業内容	「大分市アートを活かしたまちづくり推進戦略」に基づき、アートフェスティバル等のイベントを開催する。					
決算額(千円)	39,621	内訳	事業費	25,421		
			人件費	14,200		
実施内容	大分アートフェスティバル2022「回遊劇場 AFTER」を開催 ・開催期間:令和4年10月28日～11月27日、開催場所:本市中心市街地各所 ・内容:アートステーション、ウォールアート2作品、アートマルシェ参加9店舗、アートイベント20回実施、パブリックアート20作品 ・来場者数:266,863人					
成果等	イベントの開催を通して、まちなかにアートが浸透し、本市の芸術作品や新たなまちの魅力の発見を促すとともに、中心市街地の回遊性の向上が図られた。					
R4年度予算額(千円)	57,700	内訳	事業費	43,500		
			人件費	14,200		
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	・H25おおいたトレンナーレ ・H30「回遊劇場～ひらく～であうめぐる～」 ・R1「回遊劇場 SPIRAL」	「回遊劇場 AFTER」	・新設アート作品の制作 ・既存作品の紹介 ・既存作品の撤去	・新設アート作品の制作 ・既存作品の紹介 ・既存作品の撤去		
62					担当課	おおいた魅力発信局
事業名	西部海岸地区憩い・交流拠点施設整備事業		事業年度	平成29年度～ 令和21年度		
事業内容	西部海岸地区の魅力をもっと高め、観光客の増加などの新たな活力を呼び込むための憩い・交流拠点施設「たのうらら」を整備し、観光における本市の玄関口としての機能を確保することで、賑わいの創出と周遊の促進を図る。					
決算額(千円)	109,213	内訳	事業費	93,593		
			人件費	15,620		
実施内容	・施設設計業務委託 外15件 ・施設名称決定に係る市民投票 ・ロゴマークの募集					
成果等	施設の設計及び施設名称「たのうらら」とロゴマークの決定等を行った。					
R4年度予算額(千円)	116,408	内訳	事業費	100,788		
			人件費	15,620		
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	・「憩い・交流拠点施設整備基本計画」策定 ・事業者公募、契約	・施設設計 ・施設名称・ロゴマークの決定	施設建設	運用開始		
63					担当課	河川・みなの振興課
事業名	水害時避難支援事業		事業年度	令和2年度～		
事業内容	内水被害が発生する地区や、中小河川の氾濫危険箇所等に水害監視カメラや水位標示板を設置し、台風等による内水被害の軽減を図る。また、水害監視カメラの映像をライブ配信し、市民への情報提供を行う。					
決算額(千円)	22,068	内訳	事業費	21,358		
			人件費	710		
実施内容	市内3箇所にて水害監視カメラ及び水位標示板を増設した。					
成果等	リアルタイムでの現地の状況確認が可能となり、排水ポンプの設置や早期の避難情報の発信など迅速な対応を行うことができるようになった。					
R4年度予算額(千円)	23,320	内訳	事業費	22,610		
			人件費	710		
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	・プロポーザルによる業者選定 ・水害監視カメラシステム構築 ・水害監視カメラ設置(26箇所) ・水位標示板設置(13箇所)	・水害監視カメラ設置(3箇所) ・水位標示板設置(3箇所)	・水害監視カメラ設置(3箇所) ・水位標示板設置(5箇所)	・水害監視カメラ設置 ・水位標示板設置		

64					担当課	都市計画課
事業名	岡原周辺にぎわい創出促進事業			事業年度	令和2年度～	
事業内容	岡原地区における地域活動に対して補助金を交付するとともに、駐車場や管理棟及び来訪者用トイレの整備を行う。					
決算額(千円)	28,246	内訳	事業費	22,566		
			人件費	5,680		
実施内容	補助金の交付や駐車場の整備、管理棟・来訪者用トイレの設計を行った。					
成果等	市民が主体となる地域づくりへの活動支援や、岡原地区の魅力向上に向けた取組を支援することで、地域の活力と魅力を引き出すまちづくりに寄与した。					
R4年度予算額(千円)	33,080	内訳	事業費	27,400		
			人件費	5,680		
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	・土地利用の方針等検討 ・現地地質調査 ・アドバイザー業務委託	・地元活動への補助金交付 ・来訪者用駐車場の整備 ・管理棟・来訪者用トイレの設計等	・地元活動への補助金交付 ・管理棟・来訪者用トイレの建設	地元活動への補助金交付		
65						
					担当課	まちなみ整備課
事業名	鉄道残存敷整備・活用事業			事業年度	平成29年度～令和6年度	
事業内容	JR大分駅付近連続立体交差事業により生み出された鉄道残存敷において、地元協議を行いながら、大友氏遺跡等の周辺施設との連携を考慮した利活用を検討し、JR西大分駅、かんたん港園から大友氏遺跡、大分川に至るまでの新たな人の流れや滞留を促す整備を行う。					
決算額(千円)	169,275	内訳	事業費	162,175		
			人件費	7,100		
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・日豊本線西側鉄道残存敷整備工事 外1件 a=4,610㎡ ・日豊本線西側鉄道残存敷修正設計業務委託 					
成果等	日豊本線西側鉄道残存敷の一部区間の整備工事を行い、事業の進捗を図った。					
R4年度予算額(千円)	208,601	内訳	事業費	201,501		
			人件費	7,100		
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	・久大本線整備工事 ・日豊本線西側基本・詳細設計 ・日豊本線西側整備工事(E区間の一部)	・日豊本線西側整備工事(A区間・B区間) ・日豊本線西側鉄道残存敷修正設計業務委託(E区間)	日豊本線西側整備工事(C区間・E区間の一部)	日豊本線西側整備工事(D区間・E区間の一部)		
66						
					担当課	まちなみ企画課
事業名	末広町一丁目地区市街地再開発事業			事業年度	令和元年度～8年度	
事業内容	立地に適した土地利用がなされていない末広町一丁目地区において、土地の合理的かつ健全な高度利用や、地区防災の向上、都心居住の促進、都市機能の更新、中心市街地の活性化を図るため、組合施行による市街地再開発事業を行う。					
決算額(千円)	12,813	内訳	事業費	33		
			人件費	12,780		
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画変更認可 ・実施設計に係る補助事業を実施 ・移転補償費に係る補助事業については、地権者との調整に不測の日数を要したため、令和5年度に繰り越した 					
成果等	実施設計が完了し、地権者との権利変換計画の調整に着手した。					
R4年度予算額(千円)	520,073	内訳	事業費	507,293		
			人件費	12,780		
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	・組合設立及び事業計画認可 ・参加組合員などと協定締結	・事業計画変更認可 ・実施設計	・権利変換計画認可 ・除却工事	・除却工事 ・本体工事着手		

67					担当課	まちなみ企画課
事業名	祝祭の広場利活用検討事業			事業年度	令和3年度～4年度	
事業内容	祝祭の広場に、市民活動の場として「集い」「憩い」「祝い」の機会の提供を行い、本市の新しい文化の創造を促す。					
決算額(千円)	8,096		内訳	事業費	4,368	
				人件費	3,728	
実施内容	祝祭の広場において、民間活力の導入を検討するにあたり、トライアル・サウンディングを実施するための仮設店舗を設置し、社会実験として物販や飲食販売を行った。					
成果等	仮設店舗を設置することにより、イベントのない日の来場者の増加や店舗に対する高い満足度が得られるなど一定の効果があつたものの、収益性の確保などに課題も見られた。今回の社会実験で得られた効果や課題を今後の広場の利活用の推進に活かしていく。					
R4年度予算額(千円)	9,828		内訳	事業費	6,100	
				人件費	3,728	
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	トライアル・サウンディング実施用 仮設店舗設置	・トライアル・サウンディング実施 ・仮設店舗撤去 ・効果検証	-	-		
68					担当課	まちなみ整備課
事業名	戸次本町地区にぎわい創出事業			事業年度	令和3年度～	
事業内容	歴史的まちなみの利活用促進の一環として、空き店舗等活用支援事業補助金を交付するとともに、新たに地域のにぎわい創出に資する取組に係る経費について補助を行う。					
決算額(千円)	17,565		内訳	事業費	10,465	
				人件費	7,100	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗等活用支援事業補助金 1件 ・戸次本町地区地域主体支援事業補助金 1件 ・戸次本町名産品開発業務委託 外2件 					
成果等	「歴史的まちなみの利活用」「新たな魅力の創出・発信」「まちづくりの担い手育成」の3つの視点から取組を行うことで、戸次本町地区のにぎわいの創出につながった。					
R4年度予算額(千円)	17,565		内訳	事業費	10,465	
				人件費	7,100	
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	・空き店舗補助 ・多目的広場整備・賃借	・空き店舗補助 ・多目的広場賃借 ・地域主体支援事業補助 ・看板商品創出事業 等	・空き店舗補助 ・多目的広場賃借 ・地域主体支援事業補助 ・地域間連携事業 等	・空き店舗補助 ・多目的広場賃借 ・地域主体支援事業補助 ・地域間連携事業 等		
69					担当課	まちなみ企画課
事業名	西大分駅周辺整備事業			事業年度	令和4年度～5年度	
事業内容	西部海岸地区の拠点の一つとして、西大分駅前広場の再整備を行い、広場の安全性の確保や道の駅たのうらら等との周遊性向上を図る。					
決算額(千円)	15,712		内訳	事業費	5,062	
				人件費	10,650	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・駅前広場整備内容の検討 ・詳細設計業務委託 					
成果等	関係機関や地元住民と協議を行いながら、駅前広場の整備内容を検討し、整備に向けた詳細設計を実施した。					
R4年度予算額(千円)	15,938		内訳	事業費	5,288	
				人件費	10,650	
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	-	・駅前広場整備内容の検討 ・詳細設計業務委託	駅前広場整備	-		

70					担当課	まちなみ整備課
事業名	各地区住環境整備事業			事業年度	平成14年度～令和15年度	
事業内容	三佐北地区、浜町・芦崎・新川地区、滝尾中部地区、細地区は、狭隘な道路や老朽化した木造住宅が密集しており、居住環境の悪化や都市防災機能の低下が懸念されている。このため、都市計画道路や防災道路を中心とした公共施設の整備を行い、安全で快適な居住環境の形成を図る。					
決算額(千円)	1,040,021	内訳		事業費	947,721	
				人件費	92,300	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 三佐北地区 道路改築工事:L=307.5m 建物等調査:3件 建物等移転・用地買収:9件 浜町・芦崎・新川地区 道路改築工事:L=111.0m 建物等移転・用地買収:1件 滝尾中部地区 建物等調査:6件 建物等移転・用地買収:59件 細地区 道路改築工事:L=210.5m 建物等移転・用地買収:1件 					
成果等	(令和4年度末事業費進捗率) 三佐北地区:79.6%、浜町・芦崎・新川地区:99.4%、滝尾中部地区:都市再生100%、街路(都)片島岡線28.9%、細地区:85.9%					
R4年度予算額(千円)	1,384,941	内訳		事業費	1,292,641	
				人件費	92,300	
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	<ul style="list-style-type: none"> ・防災道路等工事 ・耐震性貯水槽設置 ・道路用地取得、補償 ・公園整備工事 外 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災道路等工事 ・道路用地取得、補償 ・公園整備工事 外 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災道路等工事 ・道路用地取得、補償 外 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災道路等工事 ・道路用地取得、補償 外 		
71						
					担当課	都市交通対策課
事業名	ふれあい交通運行事業			事業年度	平成24年度～	
事業内容	公共交通機関の利用が不便な地域において、住民の日常生活における移動手段を確保することを目的に、最寄りの路線バス停留所まで乗合タクシーの運行を行う。					
決算額(千円)	34,098	内訳		事業費	26,998	
				人件費	7,100	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・鶴崎地域の広内ルートを追加し全32ルートで運行を行った。 ・接続する路線バス停留所2箇所(楠木生、宮河内団地入口)に上屋・ベンチを設置した。 					
成果等	令和4年度の延べ利用者数は9,903人で、昨年度より487人増加した。また、接続する路線バス停留所に上屋・ベンチを設置し、利用環境の改善が図られた。					
R4年度予算額(千円)	43,960	内訳		事業費	36,860	
				人件費	7,100	
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域検討会の実施 ・路線新設の検討 ・制度の拡充 ・上屋等の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域検討会の実施 ・路線新設の検討 ・上屋等の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域検討会の実施 ・路線新設の検討 ・上屋等の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域検討会の実施 ・路線新設の検討 ・上屋等の整備 		
72						
					担当課	都市交通対策課
事業名	新たなモビリティサービス事業			事業年度	令和元年度～	
事業内容	高齢者等の移動困難者の支援や過疎地域における移動手段の確保、ドライバー不足への対応など、地域公共交通が抱える課題解決に向けた取組として、グリーンスローモビリティの実験運行を実施するとともに、自動運転や空飛ぶクルマ等の活用を調査するなど、多様な技術を活用した新たなモビリティサービスの創出を目指す。					
決算額(千円)	73,636	内訳		事業費	59,436	
				人件費	14,200	
実施内容	本市が所有するグリーンスローモビリティを活用し、野津原地域、佐賀関地域、大南地域において実験運行を実施するとともに、自動運転では、実験運行の成果や利用者意見などの調査結果を取りまとめ、技術提供元と協議し、実装に向けて調査を進めた。また、空飛ぶクルマにおいては、試験飛行の誘致や本市における活用の可能性について調査・検討を行った。					
成果等	実験運行を通じて日常的な利用者ニーズや安全で円滑な移動、フリー乗降の有効性などの調査を行うとともに、自動運転や空飛ぶクルマについては、社会実装に向けた調査・検討を進め、機運の醸成を図ることができた。					
R4年度予算額(千円)	110,339	内訳		事業費	96,139	
				人件費	14,200	
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	<ul style="list-style-type: none"> ・車両の購入 ・グリーンスローモビリティの実験運行 ・自動運転実験運行 ・新たなモビリティサービスに関する調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーンスローモビリティの実験運行 ・自動運転の導入に関する調査 ・空飛ぶクルマの試験飛行誘致及び可能性調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーンスローモビリティの運行 ・自動運転の導入に関する調査 ・空飛ぶクルマの試験飛行誘致 ・住宅団地の移動サービスの調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーンスローモビリティの運行 ・自動運転の導入に関する調査 ・空飛ぶクルマの試験飛行誘致 		

73					担当課	都市交通対策課
事業名	路線バス代替交通運行事業		事業年度	令和2年度～		
事業内容	路線バスの一部ルートが廃止された野津原地域及び滝尾地域において、通勤・通学等の利用ニーズに対応した移動手段を確保するため、代替交通としてジャンボタクシーによる路線バス代替交通を運行する。					
決算額(千円)	73,380	内訳	事業費	66,280		
			人件費	7,100		
実施内容	野津原地域及び滝尾地域において、最寄りの路線バスに接続するよう、路線バス代替交通を運行した。接続する路線バス停留所1箇所(滝尾校区公民館前)に上屋・ベンチを設置した。					
成果等	通勤・通学をはじめとする公共交通の利用ニーズに対応し、公共交通の利用が不便となる地域の拡大を抑制するとともに、公共交通の維持が図られた。また、接続する路線バス停留所に上屋・ベンチを設置し利用環境の改善が図られた。					
R4年度予算額(千円)	78,400	内訳	事業費	71,300		
			人件費	7,100		
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	・コミュニティバスの運行(野津原地域・滝尾地域) ・地域検討会の実施 ・上屋等の整備	・コミュニティバスの運行(野津原地域・滝尾地域) ・地域検討会の実施 ・上屋等の整備	・コミュニティバスの運行(野津原地域・滝尾地域) ・地域検討会の実施	・コミュニティバスの運行(野津原地域・滝尾地域) ・地域検討会の実施		
74						
					担当課	開発建築指導課
事業名	がけ地近接等危険住宅移転事業		事業年度	令和3年度～		
事業内容	がけ地の崩壊等により住民の生命に危険を及ぼす恐れのある区域内に建つ住宅に対し、安全な場所へ移転を促進するため、除去等に要する経費及び新たに建設する住宅(購入含む)に要する経費に補助金を交付する。					
決算額(千円)	11,325	内訳	事業費	4,225		
			人件費	7,100		
実施内容	がけ地近接等危険住宅の除却に要する経費に対して補助を行った。また、新聞による制度の周知や各自治会を通じ市内全戸へチラシの回覧など、周知・啓発活動を行った。					
成果等	がけ地近接危険住宅移転事業補助金の交付及び制度の周知を行うことにより、危険建築物の移転、除却が促進され、がけ地の崩壊等による人的被害の軽減が図られた。					
R4年度予算額(千円)	17,470	内訳	事業費	10,370		
			人件費	7,100		
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	がけ地近接等補助金 除却:1件	がけ地近接等補助金 ・除却:1件 ・建設:1件	継続実施	継続実施予定		
75						
					担当課	開発建築指導課
事業名	耐震改修促進事業		事業年度	平成18年度～		
事業内容	旧耐震基準(昭和56年5月31日以前)で建設された木造建築物の耐震診断及び診断結果に伴う耐震改修を行う場合や防災ベッド、耐震シェルターを設置する場合、危険な状態にあるブロック塀等を除却する場合に要する費用の一部を補助する。					
決算額(千円)	60,825	内訳	事業費	32,425		
			人件費	28,400		
実施内容	木造住宅の耐震診断及び耐震改修、危険ブロック塀の除却に要する費用の一部に対して補助を行った。また、戸建て住宅へパンフレットの配布を行うなど、更なる周知・啓発活動を行った。					
成果等	木造建築物の耐震化促進、地震発生時における住宅の倒壊等による人的被害の軽減が図られた。					
R4年度予算額(千円)	108,356	内訳	事業費	79,956		
			人件費	28,400		
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	・木造住宅:診断37件、改修23件 ・危険ブロック:93件	・木造住宅:診断66件、改修23件 ・危険ブロック:69件 ・木造店舗:診断1件 ・シェルター:1件、耐震ベッド1件	継続実施	継続実施予定		

76					担当課	住宅課
事業名	住宅等ストック対策推進事業		事業年度	平成27 年度～		
事業内容	「空家等対策計画」に沿った空き家対策を実施する中、老朽危険空き家等除却促進事業や、中古住宅で始める子育て新生活応援事業などの各種補助事業を実施することで、空き家等の解消及び住宅ストックの効果的な利活用を図る。					
決算額(千円)	66,785	内訳	事業費	41,935		
			人件費	24,850		
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・老朽危険空き家等除却促進事業補助金:15件 ・子育て・高齢者世帯リフォーム支援事業補助金:61件 ・三世代近居・同居ハッピーライフ推進事業補助金:39件 ・中古住宅で始める子育て新生活応援事業補助金:14件 					
成果等	各種補助事業により、住環境の保全・改善につながるともに、今までに市場に出ていない空き家等の掘り起こしなど住宅ストックの有効活用が図られた。					
R4年度予算額(千円)	73,489	内訳	事業費	48,639		
			人件費	24,850		
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	<ul style="list-style-type: none"> ・除却101件 ・リフォーム352件 ・ハッピーライフ347件 ・空き家等改修支援9件 ・中古住宅新生活応援25件 	<ul style="list-style-type: none"> ・除却15件 ・リフォーム61件 ・ハッピーライフ39件 ・中古住宅新生活応援 14件 	継続実施	継続実施予定		
77					担当課	消防局総務課
事業名	消防団詰所等施設整備事業		事業年度	年度～		
事業内容	消防団施設である車庫詰所を整備し、消防団員が円滑に活動できるよう環境を整えることで、地域の防災力を高め、災害による被害の軽減に資する。					
決算額(千円)	51,624	内訳	事業費	48,074		
			人件費	3,550		
実施内容	市内の車庫詰所183箇所のうち老朽化したものから順次建て替えていくこととし、令和4年度は1箇所(第4方面隊植田西部分団横瀬部)の消防団車庫詰所を建て替えた。第3方面隊判田分団第2部・3部(昆布刈・高江)の消防団車庫詰所については、2か年整備で、令和5年6月に完成した。また、50箇所の消防団車庫詰所に空調機を設置した。					
成果等	消防団の活動拠点を整備したことで、地域防災力の向上が図られた。					
R4年度予算額(千円)	79,809	内訳	事業費	76,259		
			人件費	3,550		
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	R3:3箇所	1箇所	2箇所	継続実施予定		
78					担当課	消防局通信指令課
事業名	消防指令業務共同運用事業		事業年度	令和2 年度～		
事業内容	消防指令業務の整備・運用に係る財政負担及び指令業務に係る人員負担の軽減、情報の一元化による応援の迅速化等を図るため、県下14本部で令和6年度から消防指令業務の共同運用を実施する。					
決算額(千円)	28,668	内訳	事業費	268		
			人件費	28,400		
実施内容	システム整備委託契約の締結及び派遣職員の身分等に関する協定書の締結を行った。					
成果等	令和6年10月からの運用開始に向けた準備を進めることができた。					
R4年度予算額(千円)	28,900	内訳	事業費	500		
			人件費	28,400		
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	R2:システム基本設計 R3:システム実施設計	<ul style="list-style-type: none"> ・システム整備 ・協定書の締結 	システム整備	<ul style="list-style-type: none"> ・システム整備 ・運用開始 		

79					担当課	防災危機管理課
事業名	被災者救援物資等備蓄事業		事業年度	平成25年度～		
事業内容	大規模災害時において、外部からの救援物資等を供給できる体制が整うまでの間に必要な食料や水、生活必需品等を地域の防災拠点となる施設に分散備蓄を行う。併せて、賞味期限のある食料等を毎年更新するとともに、備蓄箇所の追加や物資の拡充を図る。					
決算額(千円)	21,792	内訳	事業費	16,822		
			人件費	4,970		
実施内容	賞味期限の切れる備蓄食料や飲料水、使い捨て哺乳瓶の更新を行うとともに、使用期限の切れるおむつ、生理用品、ウェットティッシュの更新を行った。また、金池小学校、滝尾小学校、桃園小学校、明野北小学校、植田小学校、鶴崎公民館を備蓄箇所に追加した。					
成果等	災害時に必要となる物資を、あらかじめ地域の防災拠点に分散備蓄しておくことで、大規模災害時に被災者の円滑な救援が可能となる体制を整えることができた。					
R4年度予算額(千円)	27,210	内訳	事業費	22,240		
			人件費	4,970		
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	・物資の更新 ・副食の備蓄 ・備蓄箇所の追加	・物資の更新 ・備蓄箇所の追加 ・衛生用品の備蓄	・物資の更新 ・備蓄箇所の追加 ・衛生用品の備蓄 ・災害用簡易トイレの備蓄	・物資の更新 ・備蓄箇所の追加 ・衛生用品の備蓄		
80					担当課	防災危機管理課
事業名	津波緊急避難施設整備事業		事業年度	令和3年度～5年度		
事業内容	津波避難は浸水想定区域外の高台等への避難が基本であるが、家島地区は津波避難ビル等が地区内にないことから、逃げ遅れた住民等の緊急避難が可能な施設を家島緑地内に整備する。					
決算額(千円)	89,121	内訳	事業費	85,571		
			人件費	3,550		
実施内容	本体工事に着手した。(家島緑地津波緊急避難施設整備工事)					
成果等	施設整備を行うことで、地域住民や逃げ遅れた公園利用者などが一時的に避難する緊急避難場所が確保され、地域の安全に寄与することができる。					
R4年度予算額(千円)	123,550	内訳	事業費	120,000		
			人件費	3,550		
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	実施設計、測量	本体工事	本体工事	-		
81					担当課	防災危機管理課
事業名	戸次地区防災拠点施設整備事業		事業年度	令和2年度～6年度		
事業内容	主要幹線道路や県の物資集積拠点となっているレゾナックドーム天分からのアクセス、地域バランス等を考慮し、戸次地区に災害救援物資の輸送拠点としての機能と風水害時における地域住民等の緊急避難場所としての機能を併せ持った防災拠点施設を整備する。					
決算額(千円)	9,940	内訳	事業費	9,940		
			人件費			
実施内容	引き続き用地買収及び造成工事を実施した。(関係機関との協議に不測の日数を要したため、令和4年度予算を令和5年度に繰越)					
成果等	防災拠点施設の整備を行うことで、災害救援物資の輸送拠点が確保され、災害発生時における被災者救援体制の強化が図られる。また、風水害時における地域住民等の緊急避難場所を兼ねた施設整備を行うことにより、地域住民等の安全の確保に寄与することができる。					
R4年度予算額(千円)	438,940	内訳	事業費	429,000		
			人件費	9,940		
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	・測量・設計(R2→R3繰越) ・会社による用地買収	会社による用地買収及び造成工事(R4→R5繰越)	・会社による造成工事(R4→R5繰越) ・防災備蓄倉庫等建築工事	防災備蓄倉庫等建築工事		

82					担当課	防災危機管理課
事業名	常設災害対策本部整備事業		事業年度	令和3年度～5年度		
事業内容	荷揚町小学校跡地の複合公共施設内に、気象情報をリアルタイムで表示する映像システム等を備えた常設の災害対策本部室を整備する。					
決算額(千円)	10,657	内訳	事業費	7		
			人件費	10,650		
実施内容	プロポーザルによりシステム開発業者を決定し、大分市総合防災情報システム開発に着手した。常設災害対策本部機器製作に着手した。(システム開発、機器製作、同報系防災行政無線(親局)移設工事に係る債務負担行為を設定(限度額:2億7,000万円、期間:令和4年度～5年度))					
成果等	常設の災害対策本部を整備することで、防災気象情報や被災状況を迅速かつ的確に収集・分析・共有することが可能となり、災害対応力の強化につながる。					
R4年度予算額(千円)	10,657	内訳	事業費	7		
			人件費	10,650		
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	設計委託	システム開発・機器製作	・システム開発・機器製作 ・同報系防災行政無線(親局)移設工事	-		
83						
					担当課	学校教育課
事業名	未来自分創造資金		事業年度	平成26年度～		
事業内容	学校教育法に規定する高等学校、中等教育学校の後期課程、高等専門学校に在学する生徒及び学生のうち、学業・人物ともに優秀で、かつ経済的理由により修学困難な者に対し資金を給付する。					
決算額(千円)	22,680	内訳	事業費	20,550		
			人件費	2,130		
実施内容	高等学校等に入学を予定している中学校3年生の生徒等を対象に募集し、高等学校等に入学する年度の前年度と卒業時に10万円、進級時に5万円を給付した。					
成果等	奨学資金を給付することにより、経済的理由により修学困難な生徒・学生の支援を行うことができた。					
R4年度予算額(千円)	25,780	内訳	事業費	23,650		
			人件費	2,130		
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	R1:定員50名、応募84名 R2:定員70名、応募86名 R3:定員100名、応募73名	定員100名、応募87名	定員100名	定員100名(予定)		
84						
					担当課	学校教育課・大分市教育センター
事業名	特別支援等教育活動サポート事業・特別支援教育アドバイザー派遣事業		事業年度	平成17年度～		
事業内容	特別な教育的支援を必要とする児童生徒が在籍する学校に補助教員を配置し、一人ひとりに応じたきめ細かな指導を行うとともに、特別支援教育アドバイザーを派遣し、特別支援教育コーディネーターや特別支援学級担任等の専門性の向上に向けて指導・助言を行う。					
決算額(千円)	290,709	内訳	事業費	285,029		
			人件費	5,680		
実施内容	①特別支援等教育活動サポート事業…肢体が不自由で常時介護が必要な児童生徒、耳が不自由でノートテイク等が必要な児童生徒、学習障がい、注意欠陥・多動性障がい等により教育的支援が必要な児童生徒等に対して、一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援を行った。 ②特別支援教育アドバイザー派遣事業…特別支援教育アドバイザーを拠点校3校に配置し、派遣校21校の特別支援教育コーディネーターや特別支援学級担任等に対して、指導方法等に関する指導・助言を行った。					
成果等	①特別支援等教育活動サポート事業…補助教員の配置により、児童生徒の安全確保、学習意欲の向上、学級への所属感や自尊感情が高まるなどの効果があった。 ②特別支援教育アドバイザー派遣事業…特別支援教育アドバイザーの派遣により、教育上特別の支援を必要とする児童生徒への指導や支援及び校内支援体制の充実につながった。					
R4年度予算額(千円)	299,014	内訳	事業費	293,334		
			人件費	5,680		
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	R1:補助教員123名 R2:補助教員126名 R3:補助教員129名	・補助教員131名 ・特別支援教育アドバイザー3名	・補助教員136名 ・特別支援教育アドバイザー3名	・補助教員140名(予定) ・特別支援教育アドバイザー3名(予定)		

85					担当課	学校教育課
事業名	スクールサポートスタッフ配置事業		事業年度	平成30年度～		
事業内容	学習プリント等の準備や採点、感染症対策としての消毒作業等を行う、スクールサポートスタッフを配置し、教職員の業務における負担軽減を図る。					
決算額(千円)	132,787	内訳	事業費	124,977		
			人件費	7,810		
実施内容	学習プリント等の印刷や消毒作業などを教員に代わって行うスクールサポートスタッフを81名配置した。					
成果等	スクールサポートスタッフを配置することにより、教員等がより児童生徒への指導や教材研究等に注力できるようになり、業務の負担を軽減することができた。					
R4年度予算額(千円)	139,393	内訳	事業費	131,583		
			人件費	7,810		
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	R3:スクールサポートスタッフ73名	スクールサポートスタッフ81名	スクールサポートスタッフ81名	スクールサポートスタッフ82名(予定)		
86						
					担当課	学校教育課
事業名	外国語指導助手招聘事業		事業年度	平成5年度～		
事業内容	児童生徒が外国の文化や言語に触れ、興味・関心・意欲を高めるとともに、コミュニケーション能力の素地や基礎の育成を図るため、小中学校及び希望する市立幼稚園に外国語指導助手を派遣し、外国語活動や英語科の授業等において活用する。					
決算額(千円)	165,865	内訳	事業費	148,825		
			人件費	17,040		
実施内容	小中学校等に外国語指導助手を派遣し、外国語活動や英語科の授業等において活用することにより、児童生徒の外国語教育への関心・意欲を高め、コミュニケーション能力の素地や基礎の育成を図った。					
成果等	児童生徒がネイティブの発音等に触れることにより、外国語教育への関心・意欲を高め、英語によるコミュニケーションを図る資質・能力を育むことができた。なお、令和3年度からはJETプログラムによる招聘に加え、民間事業者を活用し、人材を確保している。 (令和4年度1学級当たりの派遣実績) 小学校3・4年生:年間15.4回、小学校5・6年生:年間38.3回、中学校:年間19.3回					
R4年度予算額(千円)	176,172	内訳	事業費	159,132		
			人件費	17,040		
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	R1:外国語指導助手31名 R2:外国語指導助手17名 R3:外国語指導助手31名 (うち民間派遣5名)	外国語指導助手34名 (うち民間派遣6名)	外国語指導助手31名 (うち民間派遣5名)	外国語指導助手31名(予定)		
87						
					担当課	学校教育課
事業名	いじめ・不登校等未然防止対策事業		事業年度	平成26年度～		
事業内容	学級集団検査(hyper-QU)を小学校4年生から中学校3年生を対象に年に2回実施し、その結果から児童生徒理解等を深め、以後の学級経営や生徒指導に活用し、いじめ・不登校等の未然防止、早期発見、早期対応を図る。					
決算額(千円)	28,176	内訳	事業費	23,206		
			人件費	4,970		
実施内容	年2回の検査結果の分析等を通して、児童生徒や学級の現状及び課題を客観的に把握するとともに、その後の指導の在り方について検討を行い、いじめや不登校等の未然防止につながる個別指導や学級集団づくり等に活用した。					
成果等	小中学校全体の「要支援群」の割合は、1回目の検査(3.1%)に比べ2回目の検査(2.9%)の方が減少しており、hyper-QUの活用はいじめや不登校等の未然防止、継続的な支援に有効であると考えられる。					
R4年度予算額(千円)	30,038	内訳	事業費	25,068		
			人件費	4,970		
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	年間2回実施	年間2回実施	年間2回実施	年間2回実施		

88					担当課	学校施設課
事業名	小中学校施設長寿命化改修事業		事業年度	年度～		
事業内容	今後一斉に更新時期を迎える教育施設は、建築年次順に建替えを行った場合、将来的に毎年多額の施設更新費用が必要となるため、大分市教育施設整備保全計画に基づき、従来の建替え中心の施設整備から建物を80年使用する長寿命化へと転換することで計画的に整備を行う。					
決算額(千円)	68,216	内訳	事業費	39,816		
			人件費	28,400		
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・長寿命化改修設計業務等委託 36,703千円 ・備品購入 3,113千円 ・長寿命化改修工事 168,030千円(令和3年度3月補正予算のため、事業費には含まない) 					
成果等	植田西中学校の体育館の改修工事および大道小学校、植田小学校、駕野小学校、判田中学校の体育館の改修に係る設計委託を実施した。					
R4年度予算額(千円)	103,636	内訳	事業費	75,236		
			人件費	28,400		
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	<ul style="list-style-type: none"> ・別保小学校(南校舎) ・森岡小学校(本校舎) ・東大分小学校(北西校舎) 等 	植田西中学校(体育館)	<ul style="list-style-type: none"> ・大道小学校(体育館) ・植田小学校(体育館) ・判田中学校(体育館) 等 	城南中学校(南北校舎・プール) 等		
89						
					担当課	学校施設課、体育保健課、子育て支援課、保育・幼児教育課
事業名	金池小学校施設整備事業		事業年度	平成30年度～ 令和19年度		
事業内容	大分市教育施設整備保全計画に基づき、長寿命化が困難と判定された金池小学校について、整備期間や財政負担等の縮減、効率化を図るため、民間活力手法であるPFI事業により、新校舎等の整備を行う。					
決算額(千円)	4,336,545	内訳	事業費	4,326,605		
			人件費	9,940		
実施内容	校舎等の施設の竣工(令和5年1月供用開始)及び施設の維持管理を行った。					
成果等	令和4年度に、新校舎の建設を完了、供用開始した。 また、令和4年度から、旧校舎等の解体を行う。					
R4年度予算額(千円)	4,370,441	内訳	事業費	4,360,501		
			人件費	9,940		
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	新校舎等建設(1年目)	<ul style="list-style-type: none"> ・新校舎等建設(2年目) ・R5年1月より供用開始 ・旧校舎等解体 	<ul style="list-style-type: none"> ・旧校舎等解体 ・運動場整備 	維持管理業務(R19まで)		
90						
					担当課	学校施設課
事業名	大在東小学校施設整備事業		事業年度	令和2年度～ 5年度		
事業内容	大在中学校区の人口増加に伴い、大在小学校及び大在西小学校の学級数の増加が今後も見込まれることから、通学区域を再編し、分離新設校を、設計・施工を一括発注するデザインビルド方式を用いて整備する。					
決算額(千円)	1,179,280	内訳	事業費	1,167,210		
			人件費	12,070		
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・設計等委託 243,069千円 ・新校舎等建設工事 924,141千円 					
成果等	令和4年度は、実施設計及び新校舎の建設(1年目)を行った。 令和5年度は引き続き新校舎建設及びグラウンド整備を行い、令和6年4月の開校に向けて整備を進める。					
R4年度予算額(千円)	1,179,280	内訳	事業費	1,167,210		
			人件費	12,070		
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	入札公告、事業者選定、事業契約の締結	新校舎等建設(1年目)	新校舎等建設(2年目)	R6年4月開校		

91					担当課	文化財課
事業名	大友氏遺跡保存整備事業		事業年度	平成11年度～		
事業内容	大友氏館跡を中心とする大友氏遺跡は、我が国の中世を代表する貴重な歴史遺産であり、また、東南アジア、ヨーロッパなど海外との広いつながりを示す貴重な史跡として評価されていることから、発掘調査による資料収集や史跡の保存・整備を行う。					
決算額(千円)	173,160	内訳	事業費	137,660		
			人件費	35,500		
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・大友氏館跡・旧万寿寺地区・唐人町跡で発掘調査(確認調査)を実施 ・市道顕徳10号線撤去工事及び大友氏館跡雨水管・排水管撤去工事を実施 ・大友氏館跡、中心建物域の復元整備に向けた検討を実施 					
成果等	確認調査の実施により、史跡の整備・活用のための資料を得ることができた。また、大友氏館中心建物の機能と平面図が概ね確定した。					
R4年度予算額(千円)	232,304	内訳	事業費	196,804		
			人件費	35,500		
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	<ul style="list-style-type: none"> ・史跡整備 ・遺跡確認調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・史跡整備 ・遺跡確認調査 	<ul style="list-style-type: none"> ・史跡整備 ・遺跡確認調査 ・土地買戻し 	<ul style="list-style-type: none"> ・史跡整備 ・遺跡確認調査 ・建物移転補償、土地買上げ 		
92						
					担当課	文化財課
事業名	DXによる地域文化資源の継承及び活用推進事業		事業年度	令和4年度～		
事業内容	DXを導入し、デジタルアーカイブを構築することで、自然災害等により消滅の危機にさらされている文化財、伝統芸能等の地域文化資源を次世代へ継承し、教育、地域活性化など、あらゆる分野へ活用する。					
決算額(千円)	11,844	内訳	事業費	8,294		
			人件費	3,550		
実施内容	デジタルアーカイブシステムの構築及び資料撮影 等 <公開資料> <ul style="list-style-type: none"> ・細部を自由に拡大し確認することができる絵巻物の高精細画像 ・美術工芸品を360度自由に回転しながら見ることができる3D画像 ・4K映像で撮影した市内の伝統芸能 					
成果等	システムの構築や資料撮影等、デジタルアーカイブの一般公開に向けた準備を進めた。					
R4年度予算額(千円)	12,722	内訳	事業費	9,172		
			人件費	3,550		
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	-	デジタルアーカイブシステム構築及び資料撮影	<ul style="list-style-type: none"> ・「大分市デジタルアーカイブ～おおいたの記憶～」の一般公開 ・地域文化資源(3D)撮影 ・使い方ガイド製作 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域文化資源(3D)撮影 ・デジタルアーカイブ保守点検 		
93						
					担当課	文化財課
事業名	FUNAI文化遺産整備基金積立金		事業年度	令和4年度～		
事業内容	FUNAI文化遺産整備基金を創設し、府内城や大友氏館といった貴重な文化遺産の保存及び整備など、歴史的風致維持向上計画の実現に資する事業に対する寄附金を積み立てる。					
決算額(千円)	5,671	内訳	事業費	2,121		
			人件費	3,550		
実施内容	大友氏遺跡歴史公園整備事業、大分城址公園整備活用事業に対する寄附金の募集、周知・PR活動を継続的に実施した。また、文化財関連施設や、公民館等の公共施設にチラシを設置したほか、大友氏遺跡フェスタなどのイベントにおいて周知を図った。					
成果等	2,121千円の寄附金を受け入れ、全額を基金に積み立てた。					
R4年度予算額(千円)	13,550	内訳	事業費	10,000		
			人件費	3,550		
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	-	寄附金額2,121千円	寄附金額10,000千円(目標値)	寄附金額10,000千円(目標値)		

94					担当課	市民協働推進課
事業名	公民館類似施設整備事業			事業年度	年度～	
事業内容	校区公民館・自治公民館の新築・改築・修繕・耐震診断・耐震改修工事等に要する経費の一部を補助する「大分市校区公民館、自治公民館等建設費等補助金」を交付し、地元負担の軽減と、地域住民の生涯学習の場、地域コミュニティの場、身近な防災拠点施設としての環境整備を促進する。					
決算額(千円)	188,058	内訳	事業費	179,538		
			人件費	8,520		
実施内容	①新築、改築、購入:83,857千円(3件) ②修繕等:85,817千円(110件) ③耐震診断:2,120千円(3件) ④耐震改修:7,744千円(1件)					
成果等	地域住民の生涯学習の場、地域コミュニティの場、身近な防災拠点施設として自治公民館・校区公民館の環境整備が促進された。					
R4年度予算額(千円)	255,820	内訳	事業費	247,300		
			人件費	8,520		
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	・補助制度の周知 ・補助金の交付(138件)	・補助制度の周知 ・補助金の交付(117件)	・補助制度の周知 ・補助金の交付	・補助制度の周知 ・補助金の交付		
95						
					担当課	社会教育課
事業名	鶴崎公民館施設整備事業			事業年度	令和元年度～6年度	
事業内容	昭和47年に建設され、本市の地区公民館の中で建築年度が最も古い鶴崎公民館の大規模改修を行い、長寿命化を図る。					
決算額(千円)	760,594	内訳	事業費	754,914		
			人件費	5,680		
実施内容	・集会室棟増築工事 586,370千円 ・集会室棟増築電気設備工事 87,652千円 ・集会室棟増築空気調和設備工事 41,531千円 等					
成果等	集会室棟の増築工事及び当該工事に伴う附帯工事を行った。					
R4年度予算額(千円)	776,890	内訳	事業費	771,210		
			人件費	5,680		
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	・公民館エレベーター設置工事 ・集会室棟敷地造成工事 ・集会室棟増築工事	集会室棟増築工事	・公民館集会室、調理室改修工事 ・公民館スロープ周辺改修工事	仮設道路撤去工事		
96						
					担当課	美術振興課
事業名	新たな知の拠点整備事業			事業年度	令和4年度～	
事業内容	「アートプラザのあり方及び周辺エリア整備基本構想」(令和3年3月策定)の整備方針に掲げる、磯崎新氏関係資料を公開・閲覧できる場の拡充、幅広い世代の市民や研究者等が集い学ぶ場の提供などを検討するとともに、アートプラザの適切な維持管理を図る。					
決算額(千円)	17,247	内訳	事業費	13,697		
			人件費	3,550		
実施内容	・アートプラザの構造躯体健全性調査、劣化調査等を実施 ・「新たな知の拠点整備概要」を令和5年2月に策定					
成果等	現状の劣化状況等や長寿命化の工事費の目安等を把握できた。また、施設の機能や事業展開について明示できた。					
R4年度予算額(千円)	17,247	内訳	事業費	13,697		
			人件費	3,550		
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	-	・構造躯体健全性調査、劣化調査を実施 ・「新たな知の拠点整備概要」を策定	・基本計画策定に着手 ・図書資料データ化 ・寄贈資料搬送 ・資料撮影	・基本計画策定 ・設計、施設整備 等		

97					担当課	社会教育課
事業名	海星館施設整備事業		事業年度	令和2年度～5年度		
事業内容	天文分野に関する学習の場や佐賀関の自然や豊予海峡を臨む景色が堪能できる憩いの場である関崎海星館について、施設の長寿命化及び機能の強化を図る。					
決算額(千円)	516,355	内訳	事業費	512,095		
			人件費	4,260		
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・関崎海星館改修工事 129,267千円 ・天体望遠鏡製作設置業務委託 105,950千円 ・プラネタリウム設備製作設置業務委託 99,550千円 等 					
成果等	建物改修工事のほか、天体望遠鏡やプラネタリウムの製作・設置等を行った。					
R4年度予算額(千円)	543,700	内訳	事業費	539,440		
			人件費	4,260		
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	<ul style="list-style-type: none"> ・建物、外構改修詳細設計 ・天体望遠鏡及びプラネタリウム製作(1年目) 	<ul style="list-style-type: none"> ・建物、外構改修工事(1年目) ・天体望遠鏡及びプラネタリウム製作(2年目) 	外構改修工事(2年目)	-		
98						
					担当課	体育保健課・学校教育課
事業名	学校給食費公会計化等学校徴収金管理事業		事業年度	令和2年度～		
事業内容	学校給食費公会計化に伴い導入したシステムを活用し、学校給食費の徴収・管理業務や滞納整理業務等を本市で一括して実施する。また、私会計の学校徴収金業務においては、同システムを活用し、各学校における学校徴収金の徴収・管理業務等の効率化、保護者の利便性向上、管理の透明性向上等を図る。					
決算額(千円)	2,208,766	内訳	事業費	2,166,166		
			人件費	42,600		
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食費においては令和4年度からの公会計化に伴い導入したシステムを活用し、児童生徒及び教職員の学校給食費の徴収管理業務、滞納整理業務を実施するとともに、給食提供に使用した食材料費の支払い業務を実施した。 ・学校徴収金においては、同システムを活用し、各学校における学校徴収金の徴収管理業務の効率化等のための環境整備(手引きの改定、口座振替の手続き方法の整備など)を実施した。 					
成果等	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食費においては、これまで各学校で実施していた徴収管理や滞納整理業務等を市が一括して実施したことにより、教職員の負担軽減、保護者の利便性向上、給食費の管理における透明性の向上等の効果が得られた。 ・学校徴収金においては、各学校ごとに行っていた徴収管理等について、システムを活用し業務の統一化を図ることにより、教員の負担軽減、保護者の利便性向上、学校徴収金の管理における透明性の向上等の効果が得られた。 					
R4年度予算額(千円)	2,308,839	内訳	事業費	2,266,239		
			人件費	42,600		
計画概要	～R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降		
	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食費徴収・管理業務システム構築 ・口座振替準備、給食用食材納入事業者登録 等 	<ul style="list-style-type: none"> (学校給食費)徴収管理、滞納整理、食材の支払い業務等(学校徴収金)15試行校でのシステム活用業務の実施 	<ul style="list-style-type: none"> (学校給食費)徴収管理、滞納整理、食材の支払い業務等(学校徴収金)全校でのシステム活用業務の実施 	<ul style="list-style-type: none"> (学校給食費)徴収管理、滞納整理、食材の支払い業務等(学校徴収金)全校でのシステム活用業務の実施 		